



National Institute of Informatics

NII Technical Report

科学研究費補助金採択研究課題数による
大学の研究活性度の調査研究
—2005年度(平成17年度)版—

I. 人文社会系編

Evaluation of Japanese Universities' Research
Activity Based on the Number of Awards of
Grants-in-Aid for Scientific Research

— 2005 Fiscal Year —

I. Humanities and Social Sciences

光田好孝、野村浩康、前田正史、前橋 至、
根岸正光、柴山盛生、西澤正己、孫 媛

Yoshitaka MITSUDA, Hiroyasu NOMURA, Masafumi MAEDA,
and Itaru MAEBASHI,

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA, Masaki NISHIZAWA,
and Yuan SUN

NII-2007-001J

March 2007

科学研究費補助金採択研究課題数による
大学の研究活性度の調査研究
－2005年度(平成17年度)版－
I. 人文社会系編

光田好孝*, 野村浩康**, 前田正史*, 前橋至*
* 東京大学 ** 東京電機大学

根岸正光, 柴山盛生, 西澤正己, 孫 媛
国立情報学研究所

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity
Based on the Number of Awards of
Grants-in-Aid for Scientific Research
－ 2005 Fiscal Year –
I. Humanities and Social Sciences

Yoshitaka MITSUDA*, Hiroyasu NOMURA**,
Masafumi MAEDA*, Itaru MAEBASHI*
* The University of Tokyo, ** Tokyo Denki University

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA,
Masaki NISHIZAWA, Yuan SUN,
National Institute of Informatics

Abstract

The system of *Grants-in-Aid for Scientific Research* from Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan is one of the oldest ones, which is the funding system for researchers belonging to universities and institutes in Japan. The fund was allotted to each researcher by peer review under the application for their own research projects.

This is the first report for 2005 fiscal year's version on the research field of humanities and social sciences. The total number of adopted subjects of research projects at 2005 has been summed up for each university and institute on individual research field and compared to those of 2004 which were reported previously.

目 次

I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究について

1. はじめに	1
2. 調査研究に利用したデータベース	3
3. 2005 度（平成 17 度）の包括的な状況	3
4. 調査研究の具体的な分析方針	10

II. 個別研究費：人文社会系編

1. 概要	11
2. 分野別	18
2-1 人文学	18
2-2 社会科学	28

I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性化の調査研究について

1. はじめに

文部科学省（文部省）科学研究費補助金制度は、1939年（昭和14年）に始まった古くからのわが国最大の、国・公・私立大学、国立研究機関等に所属する研究者に対する個人申請とピアレビューによる国の研究費配分制度である。この科学研究費補助金の配分システムが、いろいろな批判はあるにせよ紆余曲折を経ながら、わが国の大学の基礎研究を支えてきたと言っても過言ではない。わが国の科学技術の振興を一層図るために、科学技術基本法が作られ、その一環として、いわゆる競争的研究資金である科学研究費補助金に予算が重点的に配分され、図1-1に示すように、毎年予算増が図られてきた。2006年度（平成18年度）には、1,895億円と1992年度（平成4年度）の約3倍に増加し、他の省庁の所轄を含めてわが国最大の競争的研究資金となっている。納税者に対する説明責任という観点からも、科学研究費補助金がどのように配分されているかを総合的に分析・調査することは重要である。

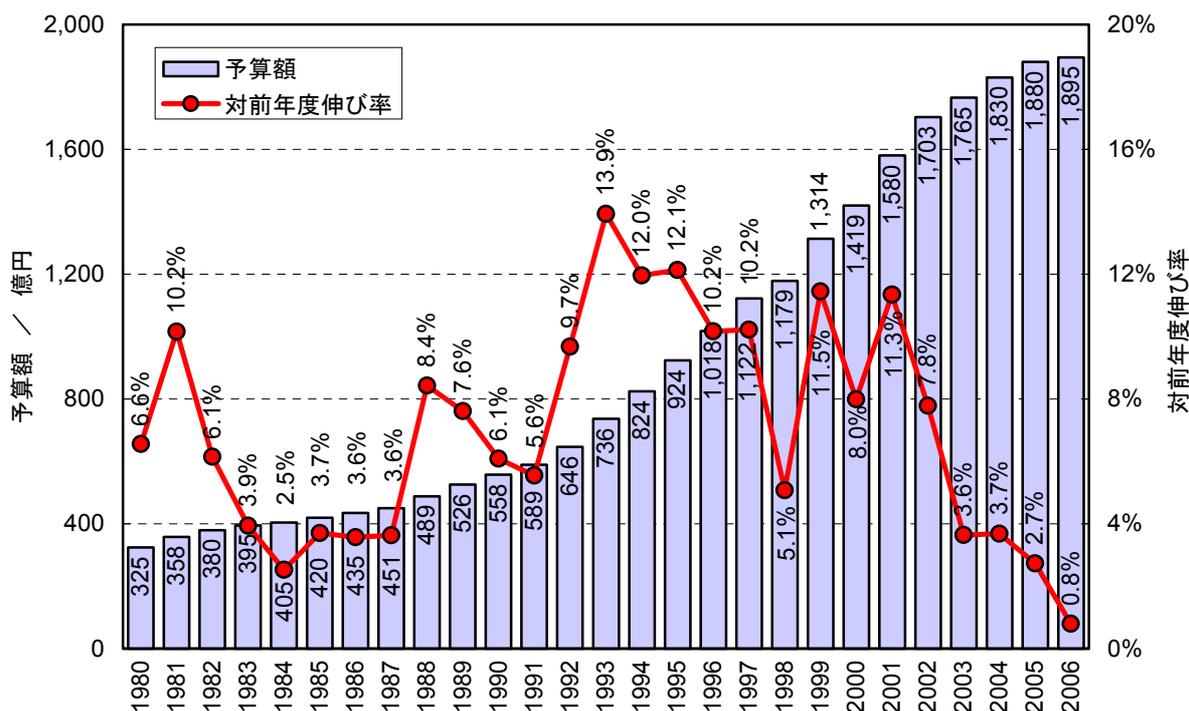


図1-1 科学研究費補助金の予算額の推移

さらに、評価における観点として、科学研究費補助金の採択研究課題数等を個人および機関評価の資料として用いるときのデータの公開性の問題がある。公開され誰にでも入手できるデータに基づき、明示された方法により、評価・順位づけがなされなければならない。この種の資料の整理・公開が非常に遅れていることも、わが国の正確な評価システムの構築を妨げている一因である。この意味から

も科学研究費補助金の採択研究課題および金額は、毎年「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）に公表されており、現在では国立情報学研究所の web サイトにも公開され、条件さえ整えば誰でも見ることができる。

科学研究費補助金のような公開データから採択研究課題数を大学別に整理することによりランキングを作成する場合、必ず大学の規模の問題が出てくる。科学研究費補助金採択研究課題数は、いわば英国における各大学の RAS（Research Active Staff）の数に対応するものと考えられる。国立大学の法人化により徐々に運営費交付金の削減が進行すれば、研究者への研究費について機関配分よりも競争的な個人配分の割合が増加するのは当然の流れである。科学研究費補助金制度は、国・公・私立大学の区別なく研究者個人が申請し研究費を獲得する制度である。採択研究課題数の多い大学は、活発に研究活動をしている教員、英国流に言えば RAS が多く所属していることになり、分野ごとの採択研究課題数の多寡は、各大学の研究活性分野の濃淡を表すことになる。とすれば、このような資料は、大学当局においても構成員の研究活性度を的確に把握するために欠くことのできないもの、大学ガバナンスの資料でもあるはずである。

この科学研究費補助金制度の根幹をなす仕組みのひとつが科学研究費補助金の「系・分野（部）・分科・細目表」（以下「細目表」という）である。この細目表は基盤研究等の研究種目に関し審査分野の区分を示す分類表である。ここで注意すべきことは、科学研究費補助金の「細目表」における細目構成が基本的にわが国の学部学科編成と似ていることから、科学研究費補助金の採択研究課題数と学部学科等の大学の組織の人数等を短絡的に比較しがちな点である。しかし、学部・学科・専攻が学問分野を中心に編成されているものの、研究者がその所属に関係なく実施しようとする研究計画の内容を考え適切な細目を自ら選んで研究費を申請できることが、科学研究費補助金の特徴である。

科学研究費補助金の「細目表」は不断に進展を続ける学問・研究の動向に合う適切なものでなければならない。科学研究費補助金の「細目表」については 1993 年度（平成 5 年度）に抜本的改正が行われ、以後 5 年ごとに見直されることが平成 5 年度募集要項に付記された。学術審議会科学研究費分科会（当時）に「分科細目改正検討委員会」が設置されたが、1998 年度（平成 10 年度）は小規模な改正に留められ、2003 年度（平成 15 年度）に大幅な改正が行われることとなった。

以上のことから、我々は、2003 年度の「細目表」の大改訂を考慮して、1998 年度（平成 10 年度）～2002 年度（平成 14 年度）の 5 年間の全ての分野にわたって科学研究費補助金採択研究課題を分析し、その結果からわが国の大学・研究機関の研究活性度を調べ、国立情報学研究所の「NII テクニカルレポート」（NII-2003-007J(2003)、NII-2004-001J～005J(2004)）として、web 上に公表した。また、その骨子は慧文社から「科学研究費補助金からみる全国大学総合ランキング — 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究 —」として出版した。

一方、2003 年度（平成 15 年度）の改正は、学術審議会答申「科学技術創造立国を目指す我が国の学術研究の総合的推進について」（1999 年（平成 11 年）6 月 29 日）に基づき、2000 年度（平成 12 年度）に学術審議会科学研究費分科会審査第一部会に「分科細目改正検討委員会」が設置され、「細目表」についての検討が続けられた。日本学術会議および 17 の関連学会等の修正・追加意見等を参考に、最終的に新たな「細目表」が決定された。この新しい「細目表」を用いて初めて申請された 2003 年度および 2004 年度の科学研究費補助金採択研究課題も分析し、国立情報学研究所の「NII テクニカルレポート」（NII-2005-002J、004J、006J～008J(2005) 、NII-2006-002J、003J、005J～007J(2006)）として、web 上に公表した。また、2003 年度、2004 年度の内容はトランスアクトから「全国大学の研究活性度 — 2003 年度科学研究費補助金の採択研究課題数に関する調査 —」、「全国大学の研究活性度 2004 —

科学研究費補助金の採択研究課題数に関する調査 一」として出版した。

本調査報告は、同様の調査研究の2005年度（平成17年度）版である。このような調査研究には連続性が必要であるので、2004年度までの調査研究と同じ方針でデータの整理・分析を行う。2004年度と同様に、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、特別研究員奨励費）と大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）とその他（特定奨励費、研究成果公開促進費、審査・評価・分析経費）にわけ、個別課題研究費、大型研究費について解析する。

2. 調査研究に利用したデータベース

科学研究費補助金の採択研究課題名等については、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）として、毎年10月に公表・刊行されている。また、科学研究費補助金の採択研究課題名や成果概要等については、国立情報学研究所により「KAKEN（科学研究費補助金採択課題・成果概要公開データベース）」（URL：<http://seika.nii.ac.jp/>）としても公開されている。このように、科学研究費補助金については、公開されたデータが存在するため、採択研究課題数等を機関評価の資料として用いることが可能である。このことは、2005年（平成17年）6月にユネスコ・ヨーロッパ高等教育センターが呼びかけ開催された高等教育専門家会合において、大学ランキングの望ましい在り方を示した文書「高等教育機関のランキングに関するベルリン原則」にも謳われているデータの透明性にあたる。

本調査研究、特に個別課題研究費の分析には「KAKEN」に公開されているデータベースを用いている。また、予算額等の「KAKEN」から得られないデータについては「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値を用いた。なお、「KAKEN」には年度当初の採択研究課題に加え年度途中での追加採択研究課題も含まれているため、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値と一致しない場合があることに注意されたい。

3. 2005年度（平成17年度）の包括的な状況

2005年度の総予算額は、図1-1に示したように、50億円増、2.7%増えて1,880億円である。緊縮財政状況の中では突出した伸びであるといえるが、伸び率が縮小してきていることがわかる。2003年度から2005年度までの総予算額の項目別内訳について示したものが、表1-1である。これらの項目を、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）、個別課題研究費の一種である特別研究員奨励費、研究成果公開促進費、特定奨励費、大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）、および残りの項目を審査・評価・分析経費として、予算額の割合を図1-2の円グラフに示す。

2003、2004年度に比べて、個別課題研究費が59.3%に微増し、大型研究費が34.7%に微減し、年々大型研究費から個別課題研究費に若干予算が移動していることがわかる。しかし、項目別予算の割合はほとんど変化していない。言い換えれば、全体的な枠組みは近年ほとんど変化しておらず、総予算額のみが増えてきているといえる。

表 1 - 1 科学研究費補助金の項目別予算額

金額単位/百万円

項 目		2003年度	2004年度	2005年度
1 科学研究費	(1) 特別推進研究	12,980	13,400	13,600
	(2) 特定領域研究	40,291	40,291	40,291
	(3) 基盤研究(S)	7,880	9,310	10,600
	(4) 基盤研究(A)	20,640	20,640	20,640
	(5) 基盤研究(B)	34,110	34,110	34,110
	(6) 基盤研究(C)	19,870	19,870	19,870
	(7) 萌芽研究	4,600	5,250	5,250
	(8) 若手研究(A)	4,030	5,440	5,900
	(9) 若手研究(B)	11,410	13,110	14,600
	(10) 奨励研究	200	600	600
	(11) 特別研究促進費	1,150	250	250
	小 計	157,161	162,271	165,711
2 研究成果公開促進費	(1) 学術定期刊行物	884	884	884
	(2) 学術図書	685	685	685
	(3) データベース	1,416	1,416	1,416
	(4) 研究成果公開発表	397	397	397
	小 計	3,382	3,382	3,382
3 特定奨励費		770	770	770
4 特別研究員奨励費		5,490	5,710	6,170
5 学術創成研究費		8,780	9,950	11,050
6 審査・評価・分析経費		917	917	917
合 計		176,500	183,000	188,000

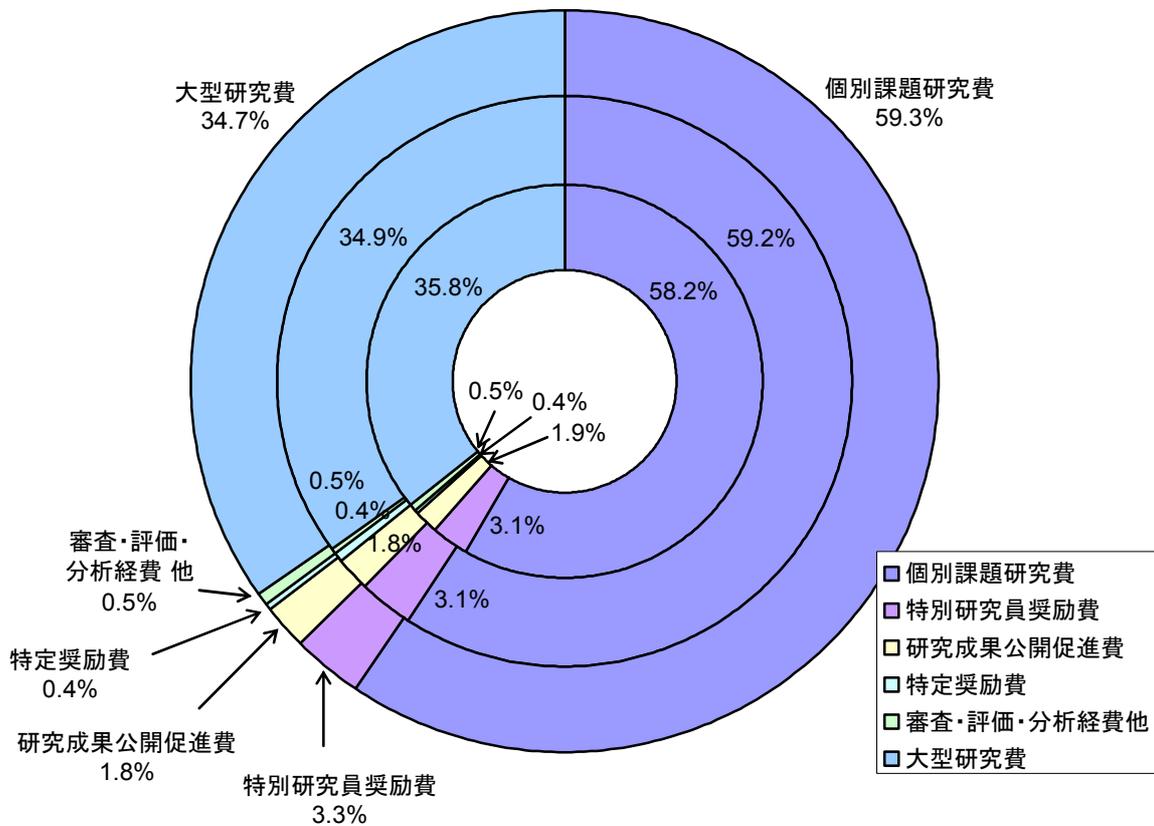


図 1 - 2 2003 年度(内周)、2004 年度(中間周)、2005 年度(外周)の科学研究費補助金の項目別予算の割合

まず、個別課題研究費について、2005年度の採択研究課題数を「分野」別に眺めてみる。採択研究課題数に着目し、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、および特別研究員奨励費）の分析に用いた「分野」別および研究種目別の採択研究課題数と配分額を表1-2に示す。

特別研究員奨励費を除いた個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）の2005年度の「分野」別の採択研究課題数の割合を図1-3に示す。2004年度と比較すると、総予算額の増加に伴い全体の採択研究課題数が約4.5%増え、「系」別の伸びが総合・新領域系で11.3%、人文社会系で6.4%増えているのに対して、理工系で1.8%、生物系で2.8%しか伸びておらず、その伸び方には差があることがわかる。

次に、2005年度の採択研究課題数を機関別に眺めてみる。2005年度の特別研究員奨励費を除く研究種目全体の機関別採択研究課題数を表1-3に、その棒グラフを図1-4に示す。1位の東京大学をはじめとして、上位を旧帝国大学が占め、広島大学等の旧文理大学が続くことがわかる。また、医学部を持つ大学が上位に現れやすい傾向が見てとれる。このように、採択研究課題全体では各機関の研究分野の特徴が表れにくく、大規模の国立大学が上位にあるように見える。

表 1-2 個別課題研究費の分野別研究種目別の採択研究課題数と配分額（2005 年度）

金額単位/百万円

研究種目	分野	総合領域	複合新領域	人文学	社会科学	数物系科学	化学	工学	生物学	農学	医歯薬学	時限付き	研究種目別合計
		件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	
基盤研究 (S)	件数	29	28	11	7	37	24	76	25	22	57	—	316
	配分額	497	590	171	82	577	436	1,379	452	351	1,083	—	5,619
基盤研究 (A)	件数	182	191	148	161	198	83	334	93	137	244	—	1,771
	配分額	1,853	1,900	1,082	1,265	1,792	989	3,620	909	1,332	2,608	—	17,349
基盤研究 (B)	件数	878	520	534	734	613	335	1,340	322	709	1,785	—	7,770
	配分額	3,749	2,285	1,799	2,518	2,538	1,714	6,321	1,584	3,103	8,708	—	34,319
基盤研究 (C)	件数	1,711	569	1,508	1,770	1,250	441	1,798	468	736	5,266	283	15,800
	配分額	2,230	767	1,459	1,821	1,458	656	2,530	702	1,027	7,537	408	20,596
萌芽研究	件数	534	284	174	260	248	203	627	165	318	1,359	—	4,172
	配分額	757	421	177	286	312	331	966	262	482	2,078	—	6,070
若手研究 (A)	件数	92	61	7	15	58	57	153	42	32	109	—	626
	配分額	600	423	14	54	449	440	1,160	362	231	807	—	4,538
若手研究 (B)	件数	1,422	469	589	1,217	871	439	1,572	439	575	3,343	—	10,936
	配分額	1,846	651	546	1,202	1,085	693	2,213	692	826	4,828	—	14,582
分野別合計	件数	4,848	2,122	2,971	4,164	3,275	1,582	5,900	1,554	2,529	12,163	283	41,391
	配分額	11,532	7,035	5,248	7,227	8,211	5,259	18,188	4,963	7,352	27,649	408	103,072
特別研究員奨励費	件数	5,575											5,575
	配分額	5,394											5,394

* 特別研究員奨励費に関してのみ、平成 17 年度文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧よりデータを採用した。

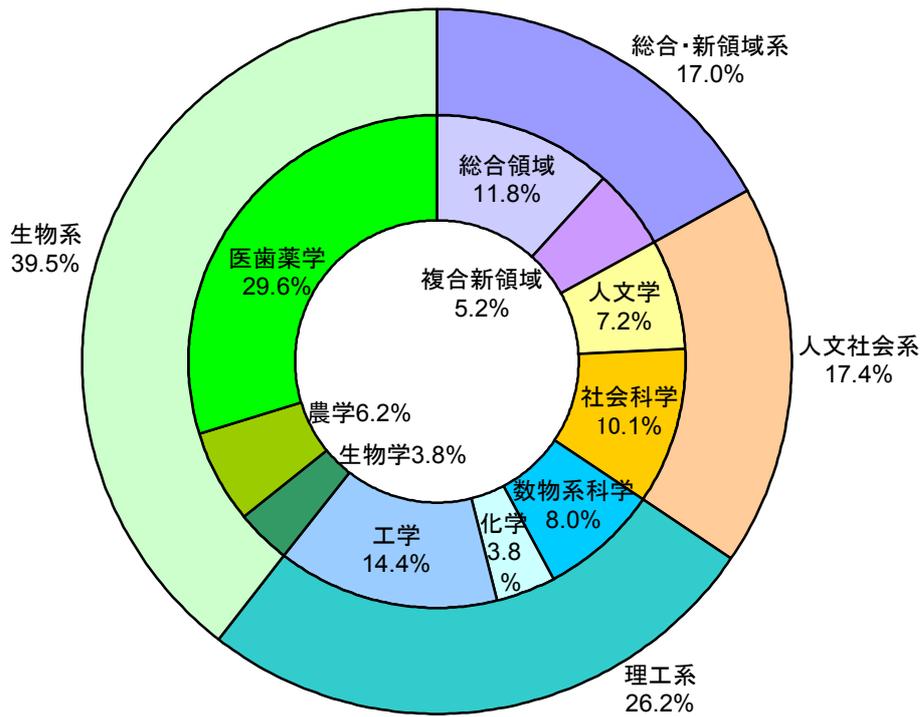


図 1 - 3 2005 年度科学研究費補助金の「系」別(外周)および「分野」別(内周)採択研究課題数の割合

表 1-3 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2005年度	
			件数	金額
1	国	東京大学	2,840	17,995,755
2	国	京都大学	2,228	11,740,300
3	国	東北大学	1,723	8,449,900
4	国	大阪大学	1,676	8,108,600
5	国	九州大学	1,382	5,260,200
6	国	北海道大学	1,341	5,136,821
7	国	名古屋大学	1,242	5,818,900
8	国	筑波大学	877	2,841,400
9	国	広島大学	853	2,213,431
10	国	東京工業大学	782	4,074,100
11	国	神戸大学	750	2,319,232
12	国	岡山大学	617	1,746,429
13	私	慶應義塾大学	597	2,251,300
14	国	千葉大学	583	1,728,200
15	私	早稲田大学	518	1,604,500
16	国	新潟大学	494	1,181,900
17	他	理化学研究所	490	2,379,800
18	国	金沢大学	456	1,299,500
19	国	徳島大学	402	1,112,100
20	国	熊本大学	401	1,396,000
20	国	長崎大学	401	974,000
22	国	東京医科歯科大学	384	1,635,000
23	私	日本大学	348	577,400
24	公	大阪市立大学	340	1,177,800
25	国	信州大学	338	684,400
26	国	山口大学	334	676,817
27	公	首都大学東京	321	948,000
28	国	鹿児島大学	319	618,700
29	国	群馬大学	313	878,100
30	国	岐阜大学	279	773,600
31	公	大阪府立大学	278	679,000
32	国	愛媛大学	275	783,800
33	国	山形大学	249	492,500
34	国	静岡大学	248	622,600
35	私	東海大学	228	476,200
36	国	鳥取大学	223	454,900
37	国	三重大学	220	504,900
38	国	横浜国立大学	218	709,100
39	国	福井大学	214	461,900
40	他	産業技術総合研究所	211	862,500
40	私	立命館大学	211	467,200
42	公	名古屋市立大学	209	524,200
43	国	琉球大学	204	383,200
44	国	東京農工大学	193	822,500
45	国	佐賀大学	191	354,572
46	私	北里大学	189	437,400
47	国	宮崎大学	188	388,600
48	国	弘前大学	183	351,600
49	国	島根大学	176	321,900
50	国	埼玉大学	175	351,700
合計			45,531	150,895,540

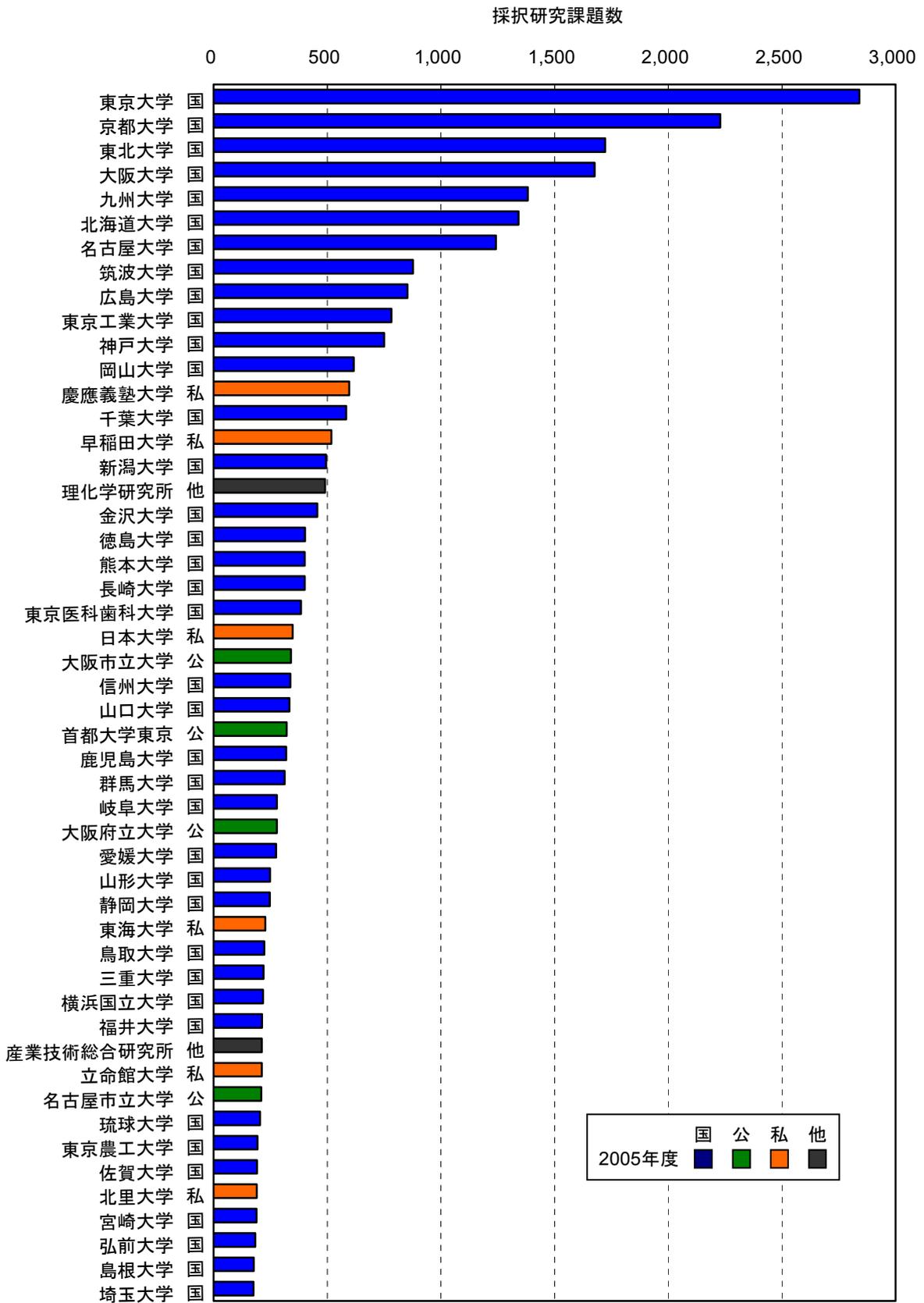


図 1 - 4 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

4. 調査研究の具体的な分析方針

特別研究員奨励費を除く個別課題研究費では、科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度を、科学研究費補助金申請および採択に用いられた新「細目表」にしたがって整理した。基本的には前回の2004年度の分析方針と同じである。経時変化がわかるように、2004年度の機関別採択研究課題数を併記することとした。ただし、2004年度の途中から2005年度の研究課題の採択までの間に、大学の合併や名称変更などが行われている。2004年度の採択研究課題数を表記する場合には、この点を考慮して、2005年4月1日現在における大学等の合併や改廃を考慮した合算を行うなどの補正をしている。また、独立行政法人の改編に伴い申請時の機関名の記述が変更になったものもあり、比較の難しいものもある。補正内容の詳細については個々に記さないの、注意されたい。

これらの研究種目については次の方法で分析する。

- (1) 各「系」について、2005年度の科学研究費補助金の採択研究課題数の総数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (2) 各「分野」について、採択研究課題数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (3) 「分科」については、文学、法学、経済学、薬学等学部に対応するものもある。基本的には、各「分科」について採択研究課題数による機関別順位を上位30位まで整理する。ただし、採択研究課題数が1件以下の場合は省略し、2件までの順位とする。
- (4) 各「細目」については、調査件数が少ないことから、2005年度の単年度の分析の対象にはしなかった。この点については、現在の「細目表」が用いられる5年間の採択研究課題数の動向をいずれ見るときに改めて分析対象としたい。しかし、新「細目表」に改訂されて3年が経過し統計的に有意な調査件数となったため、テクニカルレポートをweb公開した後、3年間合計の「細目」別の解析を改めて検討し別の機会に発表することとしたい。

一方、特別研究員奨励費については、「KAKEN」に公開されているデータベース上では、基本的に2003年度に新規採用された特別研究員からの申請による研究課題では旧「細目表」が主に用いられ、2003年度に追加採用および2004年度以降に新規採用された特別研究員からの申請による研究課題では新「細目表」が用いられている。特別研究員が2年もしくは3年任期であることから、特別研究員奨励費の採択研究課題では、旧「細目表」により分類される研究課題と新「細目表」により分類される研究課題が混在している。

したがって、特別研究員奨励費については次の方法で分析する。

- (1) 特別研究員奨励費全体の採択研究課題の総数（新・旧「細目表」すべてを含む）による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (2) 研究コードが混在しているため、旧「細目表」の「部」と新「細目表」の「分野」を、文系（部：文学、法学、経済学／分野：人文学、社会科学）、理工系（部：理学、工学、農学／分野：数物系科学、化学、工学、生物学、農学）、医系（部：医学／分野：医歯薬学）、融合系（部：複合領域／分野：総合領域、複合新領域）の4つに統合する。この4つの「研究領域」について、採択研究課題数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (3) 各「部」および各「分野」についても、採択研究課題数による機関別順位を上位30位まで整理する。ただし、採択研究課題数が1件以下の場合は省略し、2件までの順位とする。なお、これらについては、「細目表」の変更をまたいでいるため個別の機関別順位には本質的な意味がないことに注意が必要である。

Ⅱ. 個別課題研究費編：人文社会系

1 概要

2005年度の採択結果に前年度の機関別採択研究課題数を併記し、経時変化による採択動向をみることにする。「人文社会系」全体での機関別採択研究課題数を表2-1に、その棒グラフを図2-1に示す。表から明らかなように、前年度と比較すると、総予算額の増加に伴い個別課題研究費全体の採択研究課題数が4.5%増えているのに対して、人文社会系全体の採択研究課題数は6.4%増えていることがわかり、人文社会系の伸びは比較的大きいといえる。

東京大学の優位は変わらない。前年度には早稲田大学や立命館大学などの私立大学が採択研究課題数を大幅に伸ばしていたが、2005年度には、神戸大学、筑波大学、名古屋大学などの国立大学が採択研究課題数を大幅に伸ばしている。人文社会系全体としては、国立大学と私立大学が混在している状況には変化がなく、他の系・分野と比べて、私立大学、公立大学が上位に位置していることが大きな特徴である。

この人文社会系を「分野」別にわけてみると、図2-2に示すように、2005年度の採択研究課題数の割合は分野：人文学で41.6%、分野：社会科学で58.4%であり、「分野」別の割合は2003年度からほとんど変化していない。

表2-1 人文社会系 採択研究課題数上位50位(2005年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2005年度		2004年度
			件数	金額	件数
1	国	東京大学	319	816,400	308
2	国	神戸大学	210	419,000	180
3	私	早稲田大学	206	360,700	206
4	国	京都大学	200	463,100	197
5	国	筑波大学	183	366,200	148
6	国	広島大学	182	272,000	181
7	国	名古屋大学	173	314,300	145
8	国	大阪大学	165	392,900	154
9	国	北海道大学	161	352,900	142
10	国	東北大学	154	310,300	151
11	国	九州大学	151	281,600	141
12	私	立命館大学	108	199,200	102
13	国	一橋大学	94	261,100	92
14	国	東京外国語大学	76	189,100	72
15	私	関西大学	71	120,800	62
15	公	首都大学東京	71	119,200	73
17	国	千葉大学	69	136,600	67
18	国	岡山大学	68	104,929	76
19	国	新潟大学	65	73,600	63
20	私	慶應義塾大学	60	138,600	59
21	国	東京学芸大学	58	80,000	56
22	国	琉球大学	56	87,900	48
23	公	大阪市立大学	53	120,200	43
23	私	同志社大学	53	101,500	33
23	国	金沢大学	53	78,200	44
23	国	信州大学	53	52,500	51
27	私	法政大学	50	95,600	47
27	私	日本大学	50	82,300	48
27	国	横浜国立大学	50	81,400	47
27	国	静岡大学	50	68,900	48
31	私	立教大学	48	98,500	47
31	私	中央大学	48	94,200	44
33	国	お茶の水女子大学	46	69,400	44
34	国	熊本大学	45	73,100	37
35	国	弘前大学	44	57,200	33
36	国	埼玉大学	43	64,300	53
36	国	山口大学	43	56,417	40
38	私	関西学院大学	42	96,000	36
38	私	東洋大学	42	73,200	50
38	私	明治大学	42	60,700	52
41	国	福島大学	41	37,400	41
42	国	長崎大学	40	42,700	37
43	私	青山学院大学	39	49,800	31
44	私	上智大学	37	83,100	40
45	国	富山大学	36	49,800	40
45	国	愛媛大学	36	47,700	42
45	国	滋賀大学	36	43,000	40
48	国	三重大学	35	38,100	31
49	国	大阪教育大学	34	39,400	25
50	私	龍谷大学	33	73,600	30
合計			7,135	12,475,733	6,704

採択研究課題数

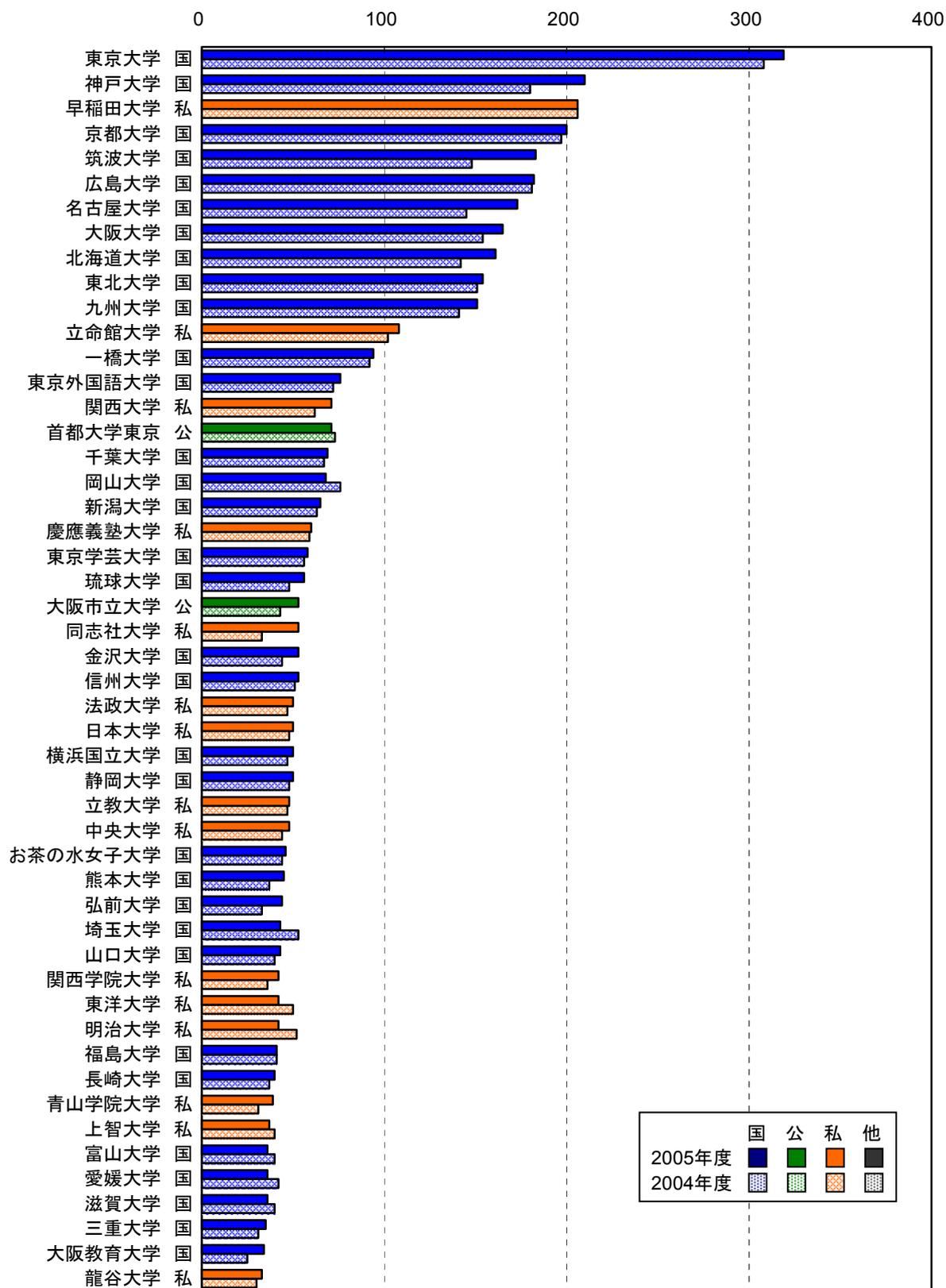


図 2 - 1 人文社会系 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

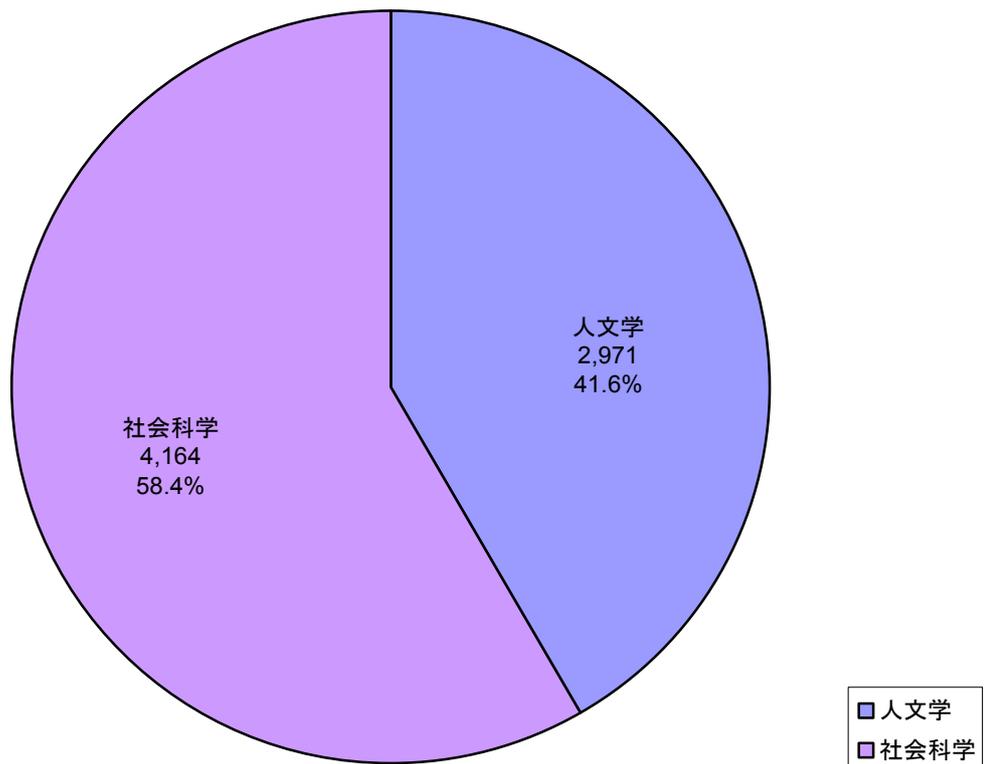


図 2 - 2 2005 年度の人文社会系「分野」別採択研究課題数

分野：人文学、社会科学での採択研究課題数を機関別に整理したものの上位 50 位を表 2 - 2 に、棒グラフを図 2 - 3 と図 2 - 4 にそれぞれ示す。人文学、社会科学ともに前年度までの傾向とほぼ同じであるが、個々の分野の特徴も表れている。

分野：人文学では、東京外国語大学、大阪外国語大学、国立国語研究所等の言語学系の大学・研究所や国文学研究資料館、国立歴史民俗博物館、奈良文化財研究所、国立民族学博物館等の研究機関が上位になっている。また、愛知県立大学が 34 位になるなど、地方国公立大学の特徴がみえる順位になっている。

分野：社会科学でも、前年度と比較して全体的な特徴は変わらないが、国立教育政策研究所、国立特殊教育総合研究所等の教育学系の研究所や、東京学芸大学、大阪教育大学等の教員養成大学が比較的上位に表れてくる。

表2-2 人文社会系「分野」別採択研究課題数上位50位(2005年度)

金額単位/千円

人文学					社会科学						
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京大学	141	379,800	142	1	国	東京大学	178	436,600	166
2	国	京都大学	103	233,500	106	2	国	神戸大学	150	304,000	124
3	私	早稲田大学	91	128,600	94	3	国	北海道大学	115	265,800	93
4	国	大阪大学	81	164,500	85	3	私	早稲田大学	115	232,100	112
5	国	広島大学	79	108,400	80	5	国	筑波大学	111	223,300	83
6	国	九州大学	74	117,800	67	6	国	広島大学	103	163,600	101
7	国	筑波大学	72	142,900	65	7	国	名古屋大学	102	202,800	86
7	国	東北大学	72	119,400	69	8	国	京都大学	97	229,600	91
9	国	名古屋大学	71	111,500	59	9	国	大阪大学	84	228,400	69
10	国	東京外国語大学	66	170,300	64	10	国	東北大学	82	190,900	82
11	国	神戸大学	60	115,000	56	11	私	立命館大学	81	159,100	77
12	国	北海道大学	46	87,100	49	12	国	九州大学	77	163,800	74
13	私	関西大学	34	61,400	27	13	国	一橋大学	76	228,200	74
14	国	金沢大学	30	59,500	24	14	国	東京学芸大学	44	64,500	41
14	国	大阪外国語大学	30	34,200	28	15	公	首都大学東京	43	70,400	45
16	国	千葉大学	29	66,800	32	15	公	横浜国立大学	43	70,200	35
17	公	首都大学東京	28	48,800	28	17	国	信州大学	42	41,100	37
17	国	岡山大学	28	42,529	29	18	国	千葉大学	40	69,800	35
19	国	琉球大学	27	43,500	23	18	国	岡山大学	40	62,400	47
19	私	立命館大学	27	40,100	25	20	国	新潟大学	38	39,900	38
19	国	新潟大学	27	33,700	25	21	私	慶應義塾大学	37	99,100	38
22	国	熊本大学	26	44,000	23	21	公	大阪市立大学	37	87,000	32
23	他	国文学研究資料館	25	96,000	26	21	私	同志社大学	37	79,900	23
23	国	静岡大学	25	37,100	22	21	私	関西大学	37	59,400	35
25	私	日本大学	24	27,300	21	25	私	法政大学	35	61,100	32
26	他	国立歴史民俗博物館	23	47,200	20	26	国	長崎大学	32	35,700	32
26	私	慶應義塾大学	23	39,500	21	27	私	立教大学	31	67,700	28
26	国	お茶の水女子大学	23	19,900	23	27	他	国立教育政策研究所	31	65,000	38
29	他	国立国語研究所	22	39,800	18	29	私	中央大学	30	52,500	25
30	国	山口大学	21	27,300	19	29	国	福島大学	30	23,300	30
31	他	奈良文化財研究所	19	61,800	24	31	国	琉球大学	29	44,400	25
31	私	明治大学	19	31,300	26	32	私	関西学院大学	28	76,700	19
31	国	弘前大学	19	24,400	15	33	私	上智大学	27	56,200	30
34	私	中央大学	18	41,700	19	34	私	日本大学	26	55,000	27
34	国	一橋大学	18	32,900	18	34	私	東洋大学	26	52,900	36
34	公	愛知県立大学	18	26,800	20	34	国	滋賀大学	26	30,200	28
37	国	埼玉大学	17	35,300	25	34	国	埼玉大学	26	29,000	28
37	私	立教大学	17	30,800	19	38	国	弘前大学	25	32,800	18
37	国	富山大学	17	29,000	19	38	国	静岡大学	25	31,800	26
37	国	三重大学	17	18,900	14	40	私	龍谷大学	24	42,000	24
37	国	島根大学	17	18,000	14	40	他	国立特殊教育総合研究所	24	40,600	26
42	公	大阪市立大学	16	33,200	11	40	私	青山学院大学	24	34,900	20
42	私	同志社大学	16	21,600	10	43	国	お茶の水女子大学	23	49,500	21
42	私	東洋大学	16	20,300	14	43	私	明治大学	23	29,400	26
42	国	山形大学	16	17,200	17	43	国	香川大学	23	23,500	26
46	私	法政大学	15	34,500	15	43	国	金沢大学	23	18,700	20
46	国	愛媛大学	15	18,900	20	47	国	山口大学	22	29,117	21
46	私	青山学院大学	15	14,900	11	47	国	大阪教育大学	22	28,600	14
49	他	国立民族学博物館	14	74,600	17	47	公	大阪府立大学	22	24,100	19
49	私	関西学院大学	14	19,300	17	50	国	愛媛大学	21	28,800	22
49	国	東京学芸大学	14	15,500	15	50	国	大分大学	21	23,400	19
49	公	神戸市外国語大学	14	15,300	12						
合計			2,971	5,248,364	2,825	合計			4,164	7,227,368	3,879

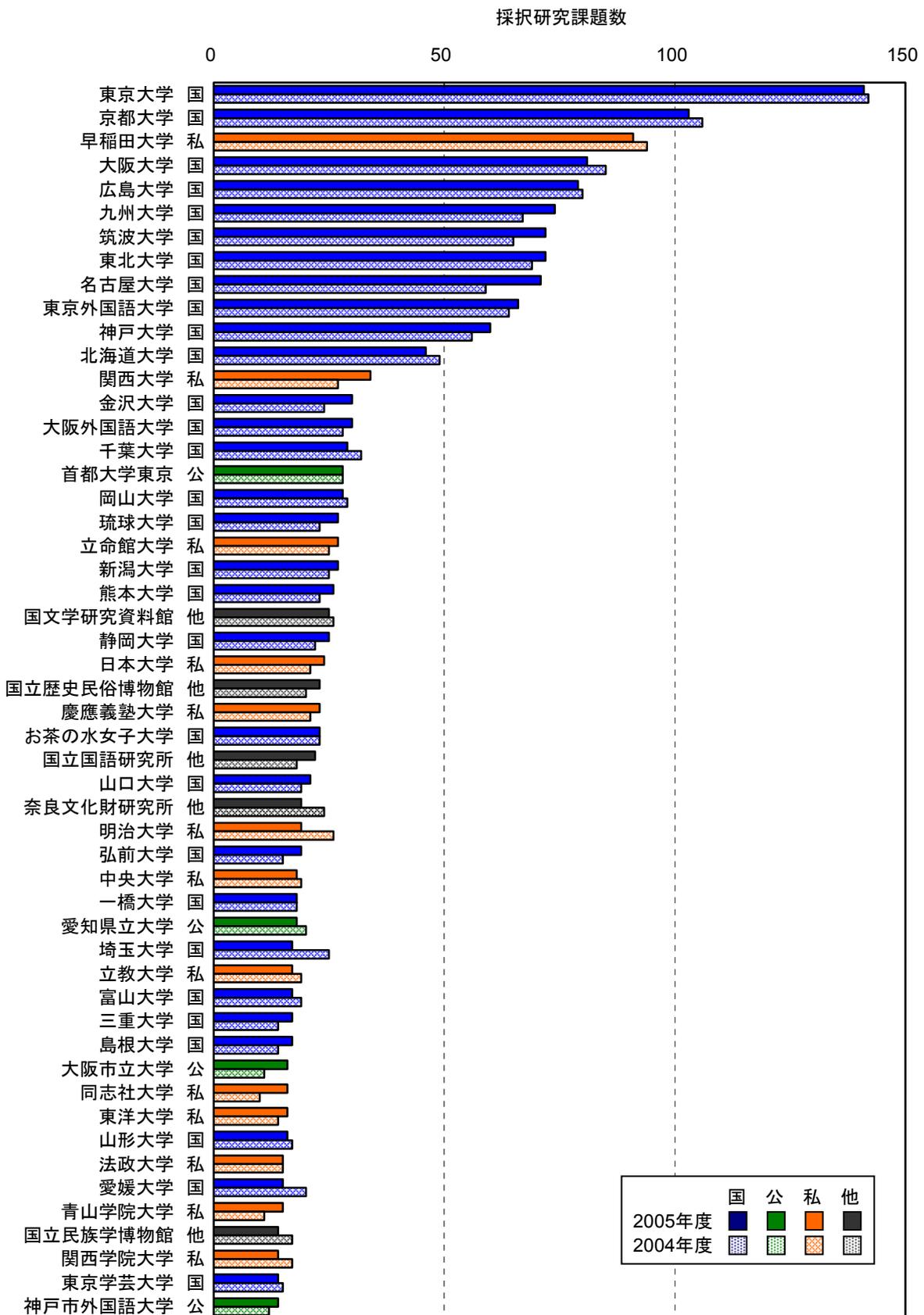


図 2 - 3 人文学 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

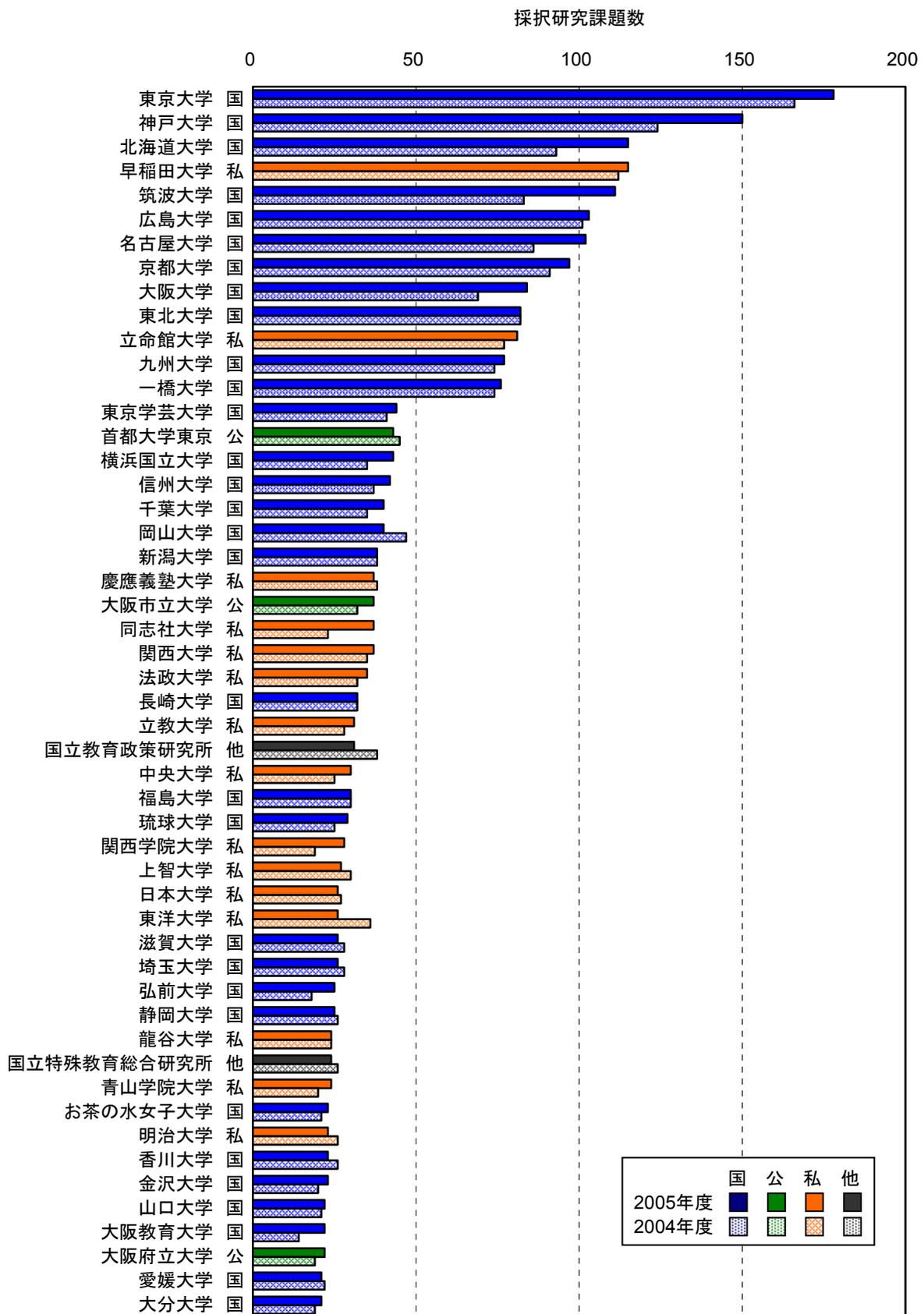


図 2 - 4 社会科学 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

2 分野別

2-1 人文学

分野：人文学の中の哲学、文学、言語学、史学、人文地理学、文化人類学の「分科」ごとの採択研究課題数を図2-5の円グラフに示す。

図2-5から明らかなように、前年度と同様に、哲学、文学、言語学、史学の「分科」に比べて、人文地理学、文化人類学の採択研究課題数の割合は小さく、他の「分科」の「細目」に相当する採択研究課題数の規模となっている。このため、単年度のみでの採択研究課題数を用いた大学間の研究活性度の比較を行う場合は、統計的な意味が他の分科と異なる点に多少注意する必要がある。

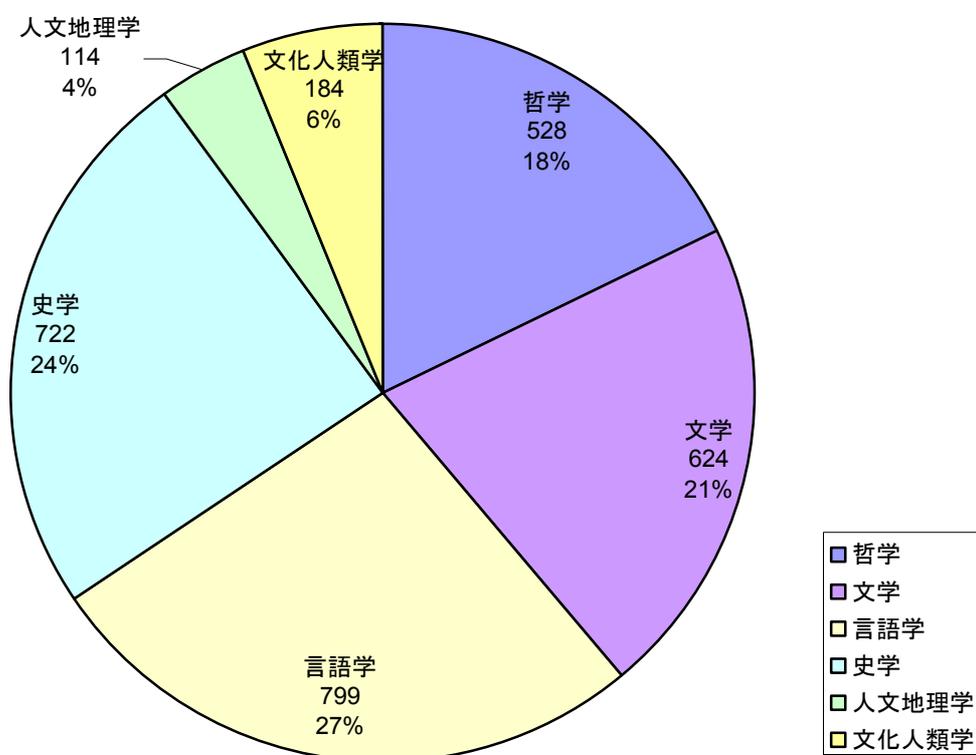


図2-5 2005年度の人文学「分科」別 採択研究課題数

以下、哲学、文学、言語学、史学、人文地理学、文化人類学の各「分科」について、I章で述べた方針にしたがって上位30位までを表にまとめ、表2-3～2-5に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2-6～2-10に示す。分科：人文地理学は採択研究課題数が少ないので、棒グラフでは省略することとする。

表2-3～2-5と図2-6～2-10で一目瞭然であるが、新しい細目表では各「分科」が学問分野ごとにかなり整理されているので、それぞれの分野での各大学の研究活性度がかなりよくみえる。分科：哲学では、東京大学、京都大学、大阪大学、東北大学と旧帝国大学時代から文学部を持つ大学

が上位を占める。

分科：文学では、東京大学の1位は変わらない。前年度に採択研究課題数を大幅に伸ばした早稲田大学が2005年度も2位に位置しているが、前年度4位に浮上した神戸大学が8位となっている。

これに対して、分科：言語学では、東京外国語大学が1位であり、大学の特徴が表れている。

分科：史学では、東京大学、京都大学のほか各種の歴史・民俗学系の研究所が30位の範囲に数多く入っていることには変化がない。

分科：人文地理学では、前年度の採択研究課題数0件であった鳥取大学、関西大学、富山大学が現れている。

以上のように、新しい細目表を用いた3年目となる2005年度では、前年度と多少異なった採択動向になってきている。しかし、分野：人文学では、各研究機関の「分科」別の採択研究課題数が少なく、年度による採択研究課題数にバラツキがある。各「分科」の中位以降は採択研究課題数が10件前後であるため、年度ごとに採択研究課題数が数件増減するだけで、大きく順位が変動してしまう。このため、単年度の採択研究課題数だけでは、大学の研究活性度を評価することが難しいことがわかる。このような採択動向の変化を注意深く見守る必要があると考えられる。

表2-4 人文学「分科」別採択研究課題数上位30位(2005年度)(2)

金額単位/千円

言語学					史学						
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京外国語大学	34	77,900	34	1	国	東京大学	44	161,800	40
2	国	筑波大学	25	37,600	24	2	国	京都大学	28	55,800	29
3	国	大阪大学	24	48,900	28	3	私	早稲田大学	27	47,900	28
4	国	東京大学	23	49,900	26	4	国	九州大学	20	46,500	19
4	国	名古屋大学	23	24,900	17	5	他	奈良文化財研究所	19	61,800	24
6	他	国立国語研究所	22	39,800	18	6	国	広島大学	17	29,800	17
6	国	東北大学	22	28,300	17	7	国	大阪大学	16	46,900	16
8	国	広島大学	21	19,900	27	8	国	名古屋大学	14	22,900	11
9	私	早稲田大学	20	23,100	23	9	国	東北大学	13	20,300	12
9	国	九州大学	20	19,000	20	10	私	関西大学	12	28,100	9
11	国	京都大学	18	38,000	21	10	他	大阪市文化財協会	12	11,500	13
12	国	神戸大学	17	38,900	9	12	他	奈良県立橿原考古学研究所	11	31,100	11
13	国	北海道大学	11	29,600	8	12	国	筑波大学	11	23,500	12
13	国	千葉大学	11	28,200	11	12	国	岡山大学	11	16,000	13
15	国	琉球大学	10	11,800	7	12	国	新潟大学	11	15,600	13
15	国	大阪外国語大学	10	7,500	11	12	国	北海道大学	11	13,200	12
17	国	お茶の水女子大学	9	7,800	8	17	国	熊本大学	10	29,800	10
18	公	首都大学東京	8	19,600	11	17	他	国立歴史民俗博物館	10	20,600	8
18	私	関西大学	8	6,600	9	19	国	東京外国語大学	8	27,700	4
20	国	金沢大学	7	9,300	8	19	国	金沢大学	8	22,500	7
20	国	山口大学	7	8,800	7	19	私	明治大学	8	21,500	11
20	国	愛知教育大学	7	7,700	4	19	国	愛媛大学	8	11,300	8
20	国	静岡大学	7	7,200	7	23	国	千葉大学	7	16,600	4
24	国	三重大学	6	8,100	2	23	国	神戸大学	7	16,600	12
24	公	神戸市外国語大学	6	7,500	6	23	公	大阪市立大学	7	16,300	5
24	私	慶應義塾大学	6	6,800	8	23	国	島根大学	7	10,000	6
24	私	日本大学	6	6,600	3	23	他	北海道開拓記念館	7	6,600	6
24	国	岡山大学	6	5,829	6	28	他	国文学研究資料館	6	25,200	6
29	私	京都産業大学	5	9,900	3	28	公	京都府立大学	6	11,600	4
29	国	東京学芸大学	5	6,600	2	28	私	立命館大学	6	11,100	5
29	国	高知大学	5	6,400	3	28	私	日本大学	6	8,700	6
29	国	信州大学	5	6,300	5	28	公	首都大学東京	6	8,500	7
29	国	愛媛大学	5	5,600	6	28	国	大阪外国語大学	6	7,300	6
29	私	立命館アジア太平洋大学	5	5,300	4	28	他	元興寺文化財研究所	6	6,300	4
29	私	青山学院大学	5	5,000	3						
29	私	東海大学	5	4,300	7						
29	国	熊本大学	5	3,700	3						
29	私	立命館大学	5	2,900	7						
合計			799	1,184,229	760	合計			722	1,555,200	698

表2-5 人文学「分科」別採択研究課題数上位30位(2005年度)(3)

金額単位/千円

人文地理学					文化人類学						
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	神戸大学	6	13,300	6	1	他	国立民族学博物館	11	51,600	12
2	国	京都大学	5	16,600	7	1	他	国立歴史民俗博物館	11	22,000	9
3	国	筑波大学	4	24,500	2	3	国	京都大学	8	26,000	9
3	国	広島大学	4	13,400	3	4	国	筑波大学	7	15,400	6
3	国	奈良女子大学	4	13,200	4	5	国	東京外国語大学	5	23,600	7
3	私	奈良大学	4	7,300	2	5	国	神戸大学	5	17,600	5
7	国	鳥取大学	3	10,900	0	5	他	北海道開拓記念館	5	8,100	3
7	公	首都大学東京	3	10,400	3	8	国	東京大学	4	13,900	4
7	国	九州大学	3	3,600	2	8	国	東北大学	4	8,000	8
7	国	名古屋大学	3	3,400	3	8	国	広島大学	4	4,100	4
11	国	徳島大学	2	7,900	1	11	国	千葉大学	3	10,500	2
11	私	関西大学	2	7,700	0	11	国	九州大学	3	8,600	2
11	国	金沢大学	2	6,100	2	11	国	大阪大学	3	6,800	3
11	公	大阪市立大学	2	5,800	3	11	国	静岡大学	3	5,800	3
11	国	富山大学	2	5,600	0	11	国	新潟大学	3	2,800	1
11	国	岡山大学	2	4,300	2	16	国	名古屋大学	2	18,100	3
11	国	大分大学	2	4,300	2	16	私	神奈川大学	2	12,200	1
11	私	法政大学	2	4,300	3	16	国	一橋大学	2	9,100	1
11	国	琉球大学	2	4,100	2	16	私	東北学院大学	2	6,500	0
11	私	立命館大学	2	3,400	1	16	私	南山大学	2	6,400	1
11	国	東京大学	2	2,500	2	16	国	北海道大学	2	4,700	2
11	私	追手門学院大学	2	2,400	2	16	私	國學院大學	2	4,700	2
11	私	明治大学	2	1,800	2	16	私	京都文教大学	2	4,600	3
11	国	埼玉大学	2	1,700	5	16	私	法政大学	2	3,600	2
11	国	お茶の水女子大学	2	1,300	2	16	国	弘前大学	2	3,100	3
						16	国	熊本大学	2	3,100	2
						16	私	甲南大学	2	2,400	2
						16	公	大阪市立大学	2	2,100	1
						16	他	東京文化財研究所	2	1,600	1
						16	私	日本女子大学	2	1,100	3
						16	私	早稲田大学	2	1,100	2
						16	国	大阪外国語大学	2	1,000	2
						16	国	山口大学	2	1,000	2
合計			114	260,500	122	合計			184	478,500	180

採択研究課題数

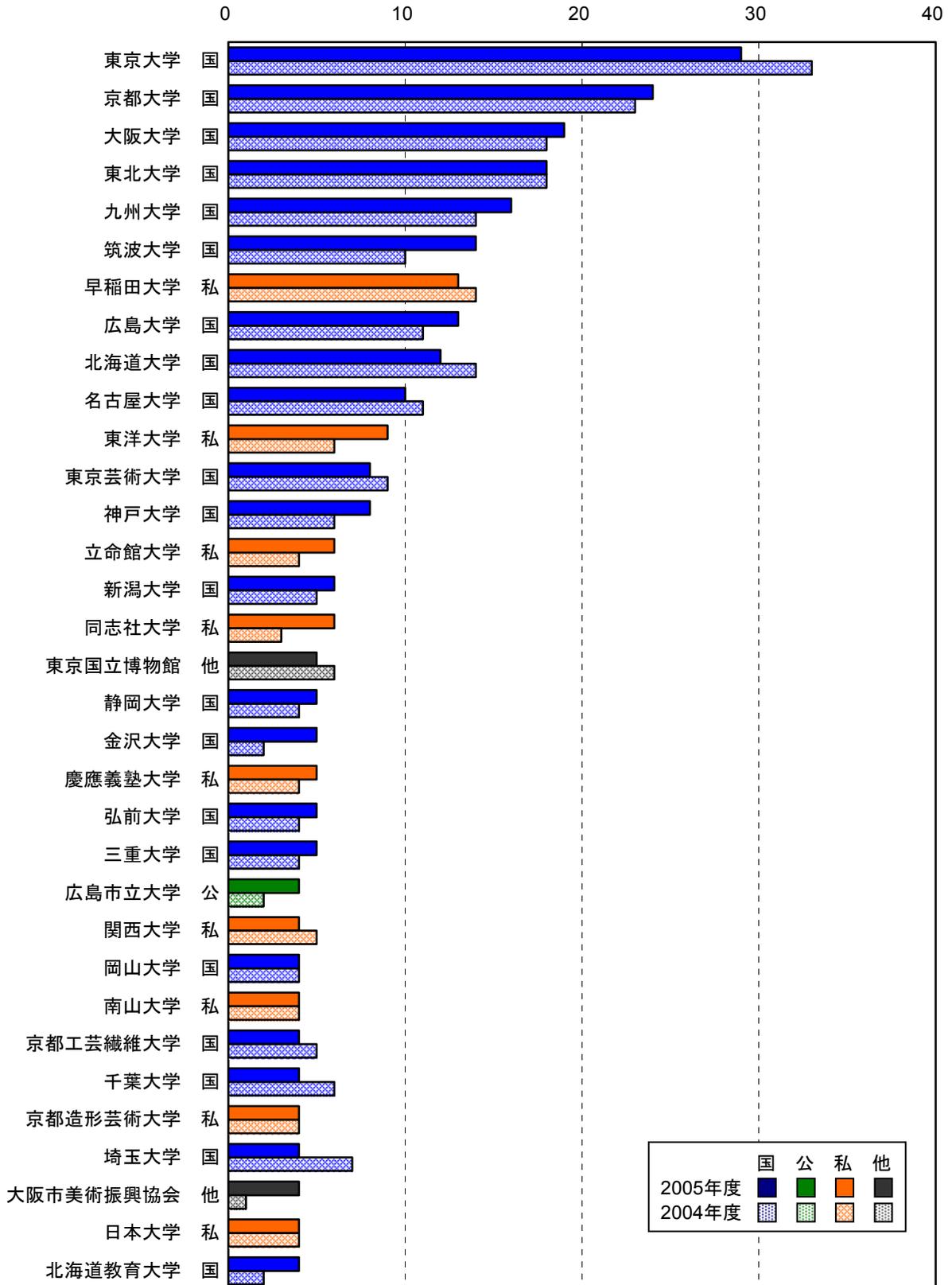


図 2 - 6 哲学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

採択研究課題数

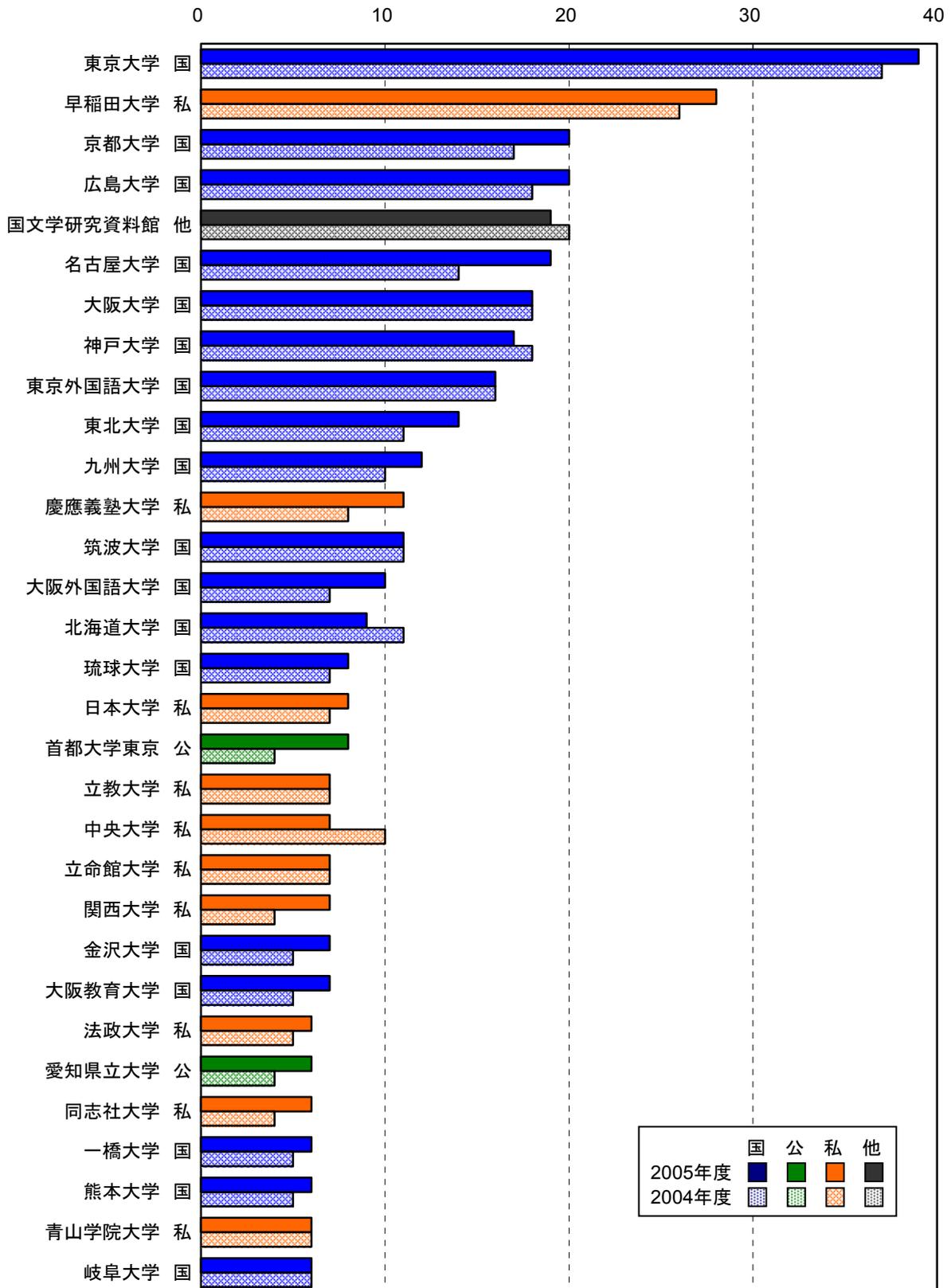


図 2 - 7 文学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

採択研究課題数

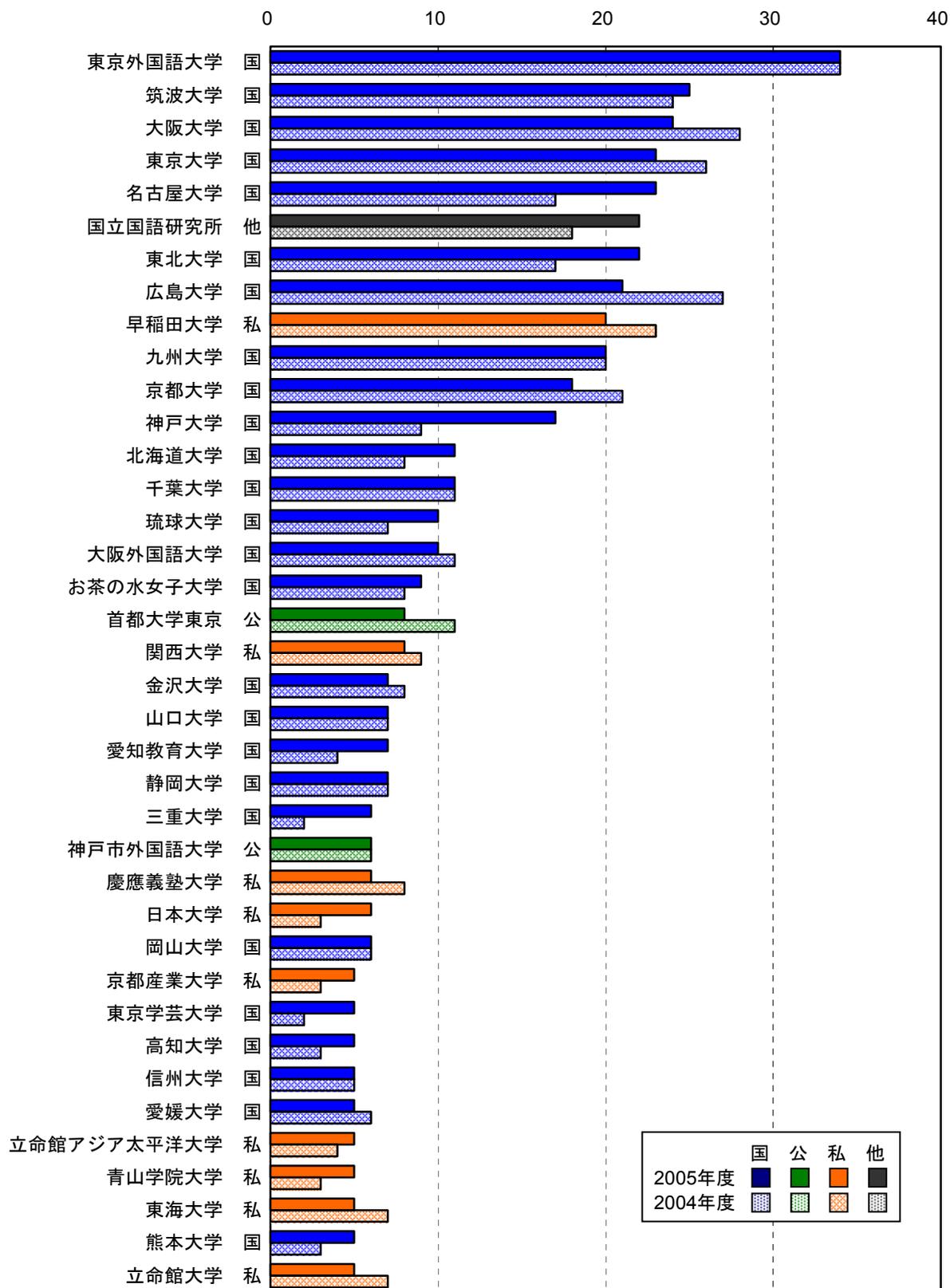


図2-8 言語学 採択研究課題数上位30位(2005年度)

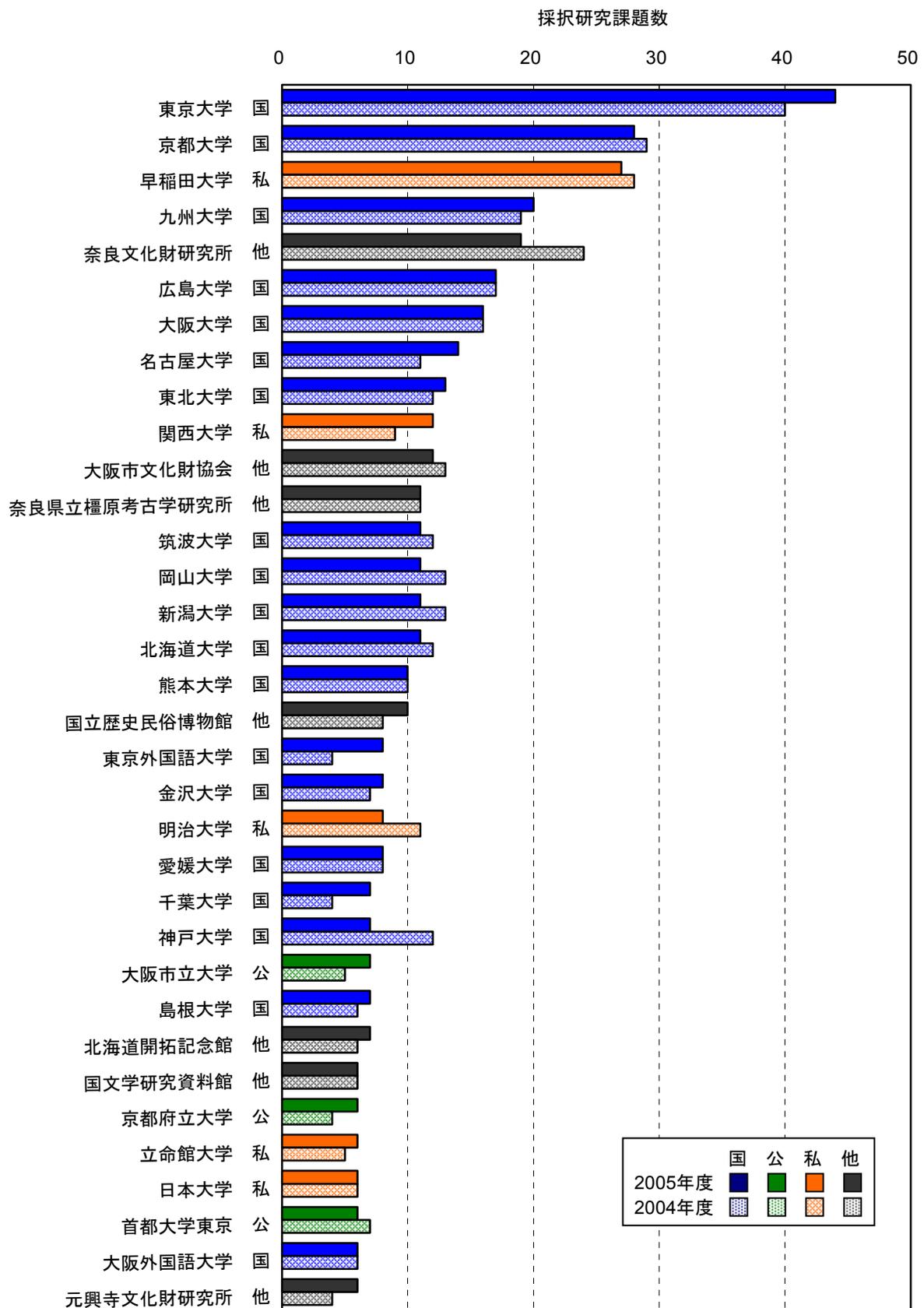


図2-9 史学 採択研究課題数上位30位（2005年度）

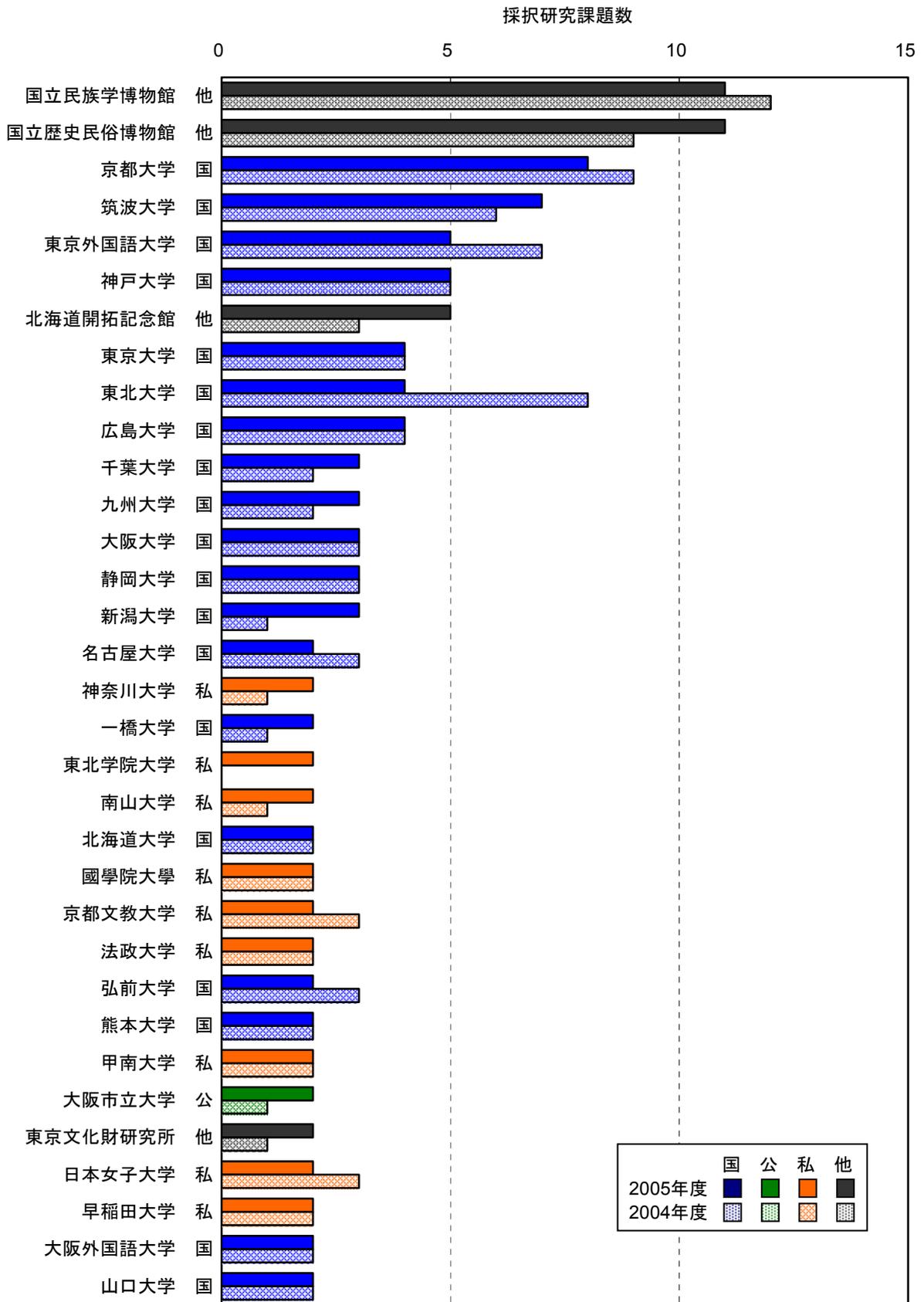


図 2 - 10 文化人類学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

2-2 社会科学

分野：社会科学の中の法学、政治学、経済学、経営学、社会学、心理学、教育学の「分科」ごとの採択研究課題数を図2-11の円グラフに示す。分野：人文学と比べると、分科：政治学を除けば「分科」別の採択研究課題数に大きな偏りがない。

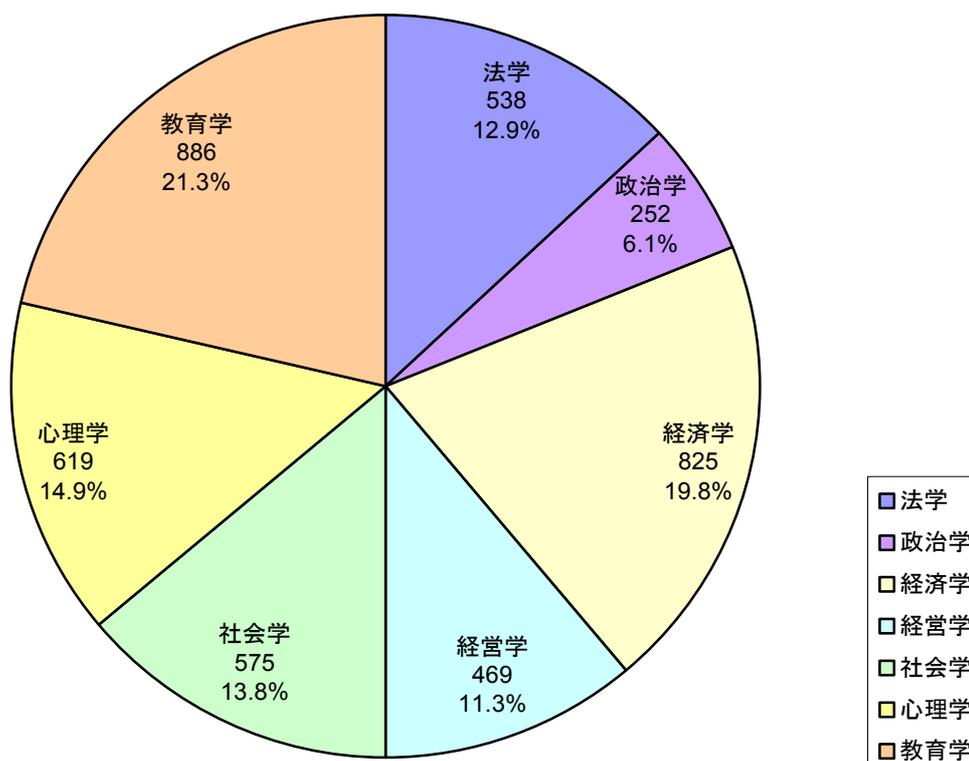


図2-11 2005年度の社会科学「分科」別 採択研究課題数

以下、法学、政治学、経済学、経営学、社会学、心理学、教育学の各「分科」について、I章で述べた方針にしたがって上位30位までを表にまとめ、表2-6～2-9に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2-12～2-18に示す。

分野：社会科学でも、ほぼ人文学と同じような傾向をみてとれる。まず、分科：法学では、北海道大学が採択研究課題数を伸ばし1位となり、逆に、採択研究課題数を減らした東京大学が2位に後退している。

分科：政治学では、採択研究課題数の伸びは小さいものの東京大学が1位を守り、前年度の11位の筑波大学が採択研究課題数を伸ばし5位となっている。

分科：経済学でも、前年度1位となった東京大学が順位を守っている。

分科：経営学では、1位の神戸大学が採択研究課題数を伸ばし2位との差を広げ、大幅に採択研究課題数を伸ばした横浜国立大学が前年度の9位から3位にあがっている。経済学と比較して、私立大学が多いことには変化はない。

分科：社会学でも、私立大学の強さが目立つ。

分科：心理学では、前年度1位の京都大学、広島大学がそれぞれ2位、3位となり、前年度3位の九州大学が1位に躍り出ている。

分科：教育学では、前年度と同様に、国立教育政策研究所、国立特殊教育総合研究所等の教育系研究所や、広島大学、筑波大学のような旧文理大学が上位に位置し、国立教員養成大学も数多く表れている。

この一連の、科学研究費補助金の採択研究課題数による大学・大学院の研究活性度の調査研究にあたって、データの整理、編集、図表の作成をお願いした東京大学生産技術研究所の斉藤加余子氏に感謝の意を表す。

表2-8 社会科学「分科」別採択研究課題数上位30位(2005年度)(3)

金額単位/千円

社会学					心理学						
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	私	立命館大学	17	45,000	15	1	国	九州大学	21	58,600	20
2	国	東京大学	13	53,800	13	2	国	京都大学	19	46,800	23
3	私	関西学院大学	12	52,000	7	3	国	名古屋大学	18	37,200	16
3	国	東北大学	12	43,200	12	3	国	広島大学	18	30,700	23
5	私	早稲田大学	11	33,600	15	5	国	北海道大学	17	38,200	9
5	私	立教大学	11	29,900	9	6	国	筑波大学	15	26,000	15
7	国	神戸大学	10	27,100	10	7	国	信州大学	14	12,900	14
7	私	法政大学	10	14,400	7	8	国	大阪大学	13	18,700	12
7	国	名古屋大学	10	12,400	10	9	国	東京大学	12	39,700	13
10	国	大阪大学	9	27,700	7	10	私	早稲田大学	10	15,900	12
10	私	東洋大学	9	24,200	12	11	国	お茶の水女子大学	9	24,100	8
10	公	首都大学東京	9	18,200	9	11	国	神戸大学	9	22,900	7
10	公	大阪府立大学	9	13,200	7	11	国	大阪教育大学	9	14,100	5
14	私	日本福祉大学	8	14,800	5	11	国	千葉大学	9	9,800	9
15	国	北海道大学	7	21,300	8	11	私	広島国際大学	9	7,400	11
15	公	大阪市立大学	7	15,800	7	16	私	立命館大学	8	16,200	8
15	私	日本女子大学	7	13,100	7	17	国	東北大学	7	8,400	10
15	私	佛教大学	7	10,400	8	18	私	慶應義塾大学	6	25,600	6
19	国	奈良女子大学	6	14,600	6	18	私	金沢工業大学	6	8,400	3
19	国	筑波大学	6	11,300	2	20	国	岡山大学	5	16,700	6
19	私	ルーテル学院大学	6	10,500	4	20	公	首都大学東京	5	9,000	5
19	国	琉球大学	6	9,700	4	20	他	大学入試センター	5	7,800	4
19	国	信州大学	6	6,500	6	20	他	東京都高齢者研究・福祉振興財団	5	6,900	6
24	私	金城学院大学	5	19,700	4	20	国	東京学芸大学	5	4,800	8
24	私	中央大学	5	14,700	4	20	国	三重大学	5	4,800	4
24	私	日本社会事業大学	5	13,000	4	20	国	埼玉大学	5	4,200	6
24	国	山口大学	5	11,800	3	20	国	金沢大学	5	4,000	7
24	私	上智大学	5	11,500	7	20	私	中部大学	5	3,500	3
24	国	京都大学	5	9,100	6	29	他	東京都医学研究機構	4	10,300	4
24	国	九州大学	5	7,200	5	29	私	関西大学	4	8,800	3
24	私	北星学園大学	5	6,300	2	29	他	理化学研究所	4	7,500	3
24	私	明治学院大学	5	5,800	4	29	私	日本女子大学	4	5,400	4
24	国	大分大学	5	4,300	4	29	私	北海道医療大学	4	4,900	3
						29	私	中京大学	4	4,500	4
						29	国	新潟大学	4	2,900	3
						29	国	滋賀大学	4	2,600	4
						29	国	宮崎大学	4	2,500	4
合計			575	1,100,194	549	合計			619	986,600	593

表 2-9 社会科学「分科」別採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度) (4)

金額単位/千円

教育学					
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額	
1	国	広島大学	52	91,700	48
2	国	筑波大学	44	104,000	33
3	国	東京学芸大学	32	49,500	31
4	他	国立教育政策研究所	30	63,900	37
5	国	東京大学	21	47,200	17
5	他	国立特殊教育総合研究所	21	38,200	24
7	国	東北大学	17	44,400	14
8	国	名古屋大学	16	38,100	14
9	国	上越教育大学	15	26,900	19
9	国	京都大学	15	23,000	9
9	国	信州大学	15	14,500	11
12	国	京都教育大学	14	15,300	11
13	国	北海道教育大学	13	17,700	8
13	国	大阪教育大学	13	14,500	8
15	国	静岡大学	12	20,300	10
15	国	弘前大学	12	19,100	6
15	国	鳴門教育大学	12	14,300	13
15	国	兵庫教育大学	12	13,300	11
19	国	大阪大学	11	42,100	5
20	国	北海道大学	10	26,500	9
20	国	愛知教育大学	10	19,100	17
20	国	千葉大学	10	18,300	7
20	他	筑波技術短期大学	10	15,900	11
20	国	新潟大学	10	12,900	6
20	国	神戸大学	10	12,300	8
26	国	群馬大学	9	24,700	7
26	私	早稲田大学	9	20,500	7
26	国	お茶の水女子大学	9	18,100	8
26	国	琉球大学	9	16,200	7
26	国	長崎大学	9	12,700	10
26	国	福岡教育大学	9	9,700	9
合計			886	1,455,817	837

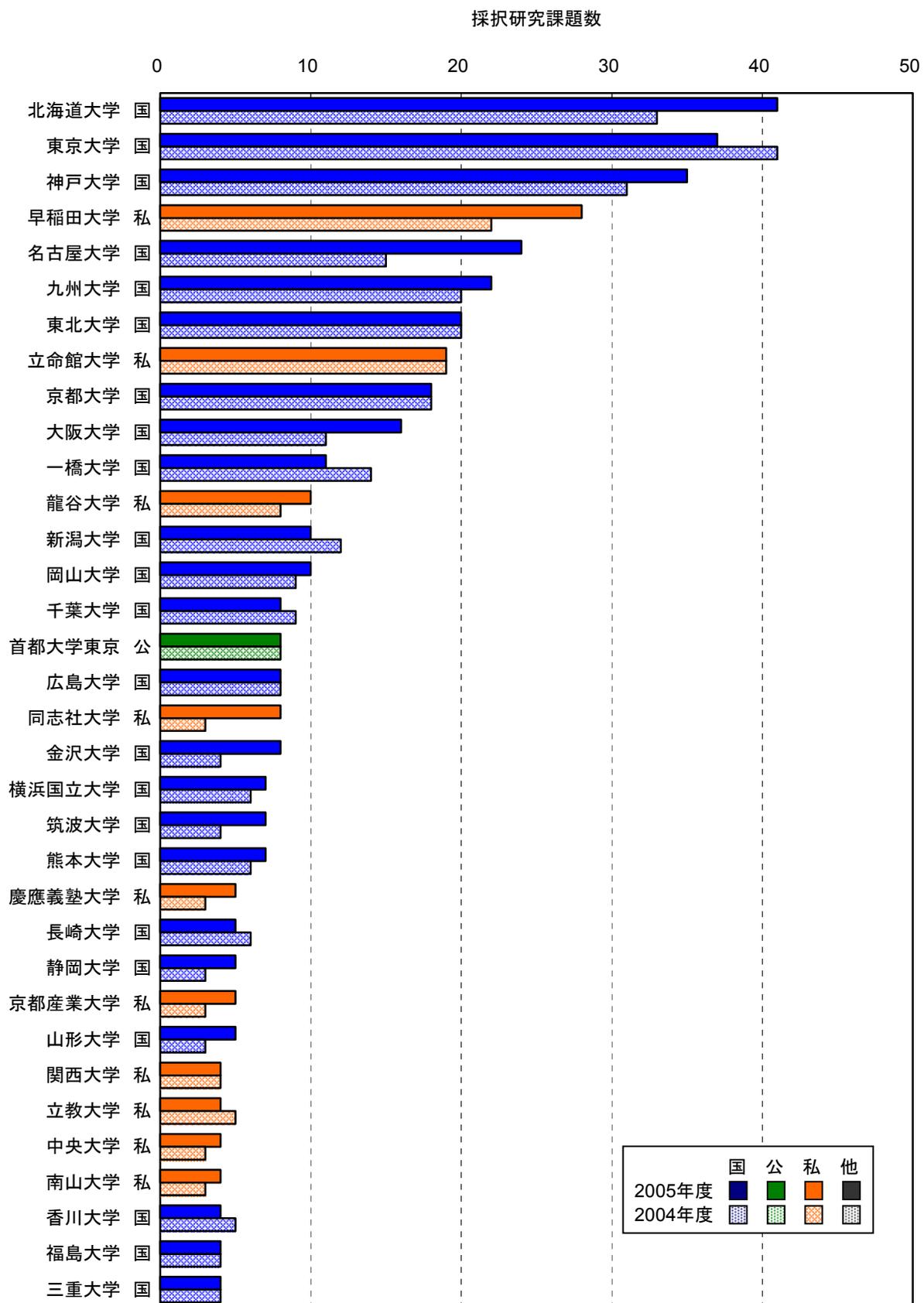


図 2 - 1 2 法学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

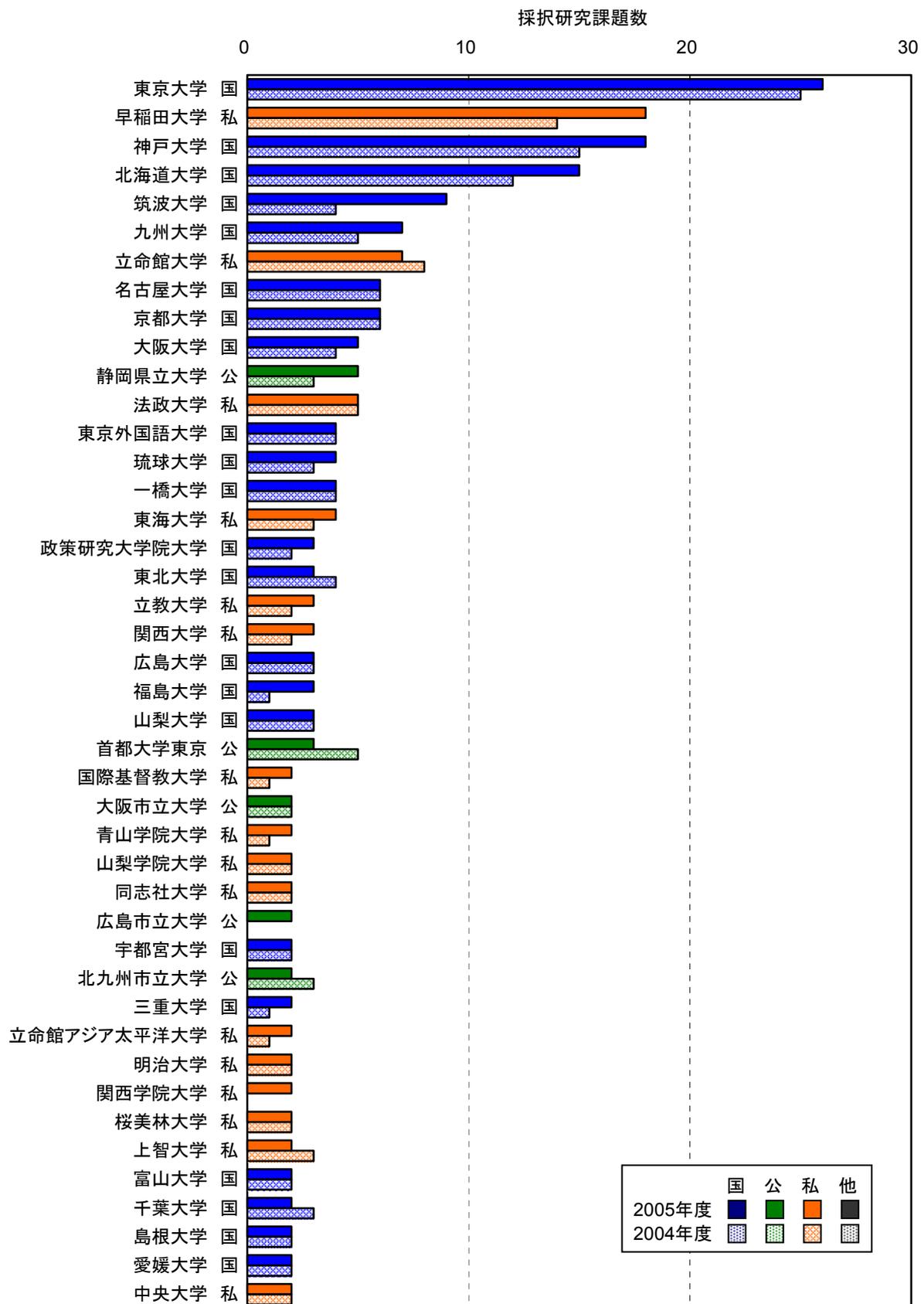


図2-13 政治学 採択研究課題数上位30位 (2005年度)

採択研究課題数

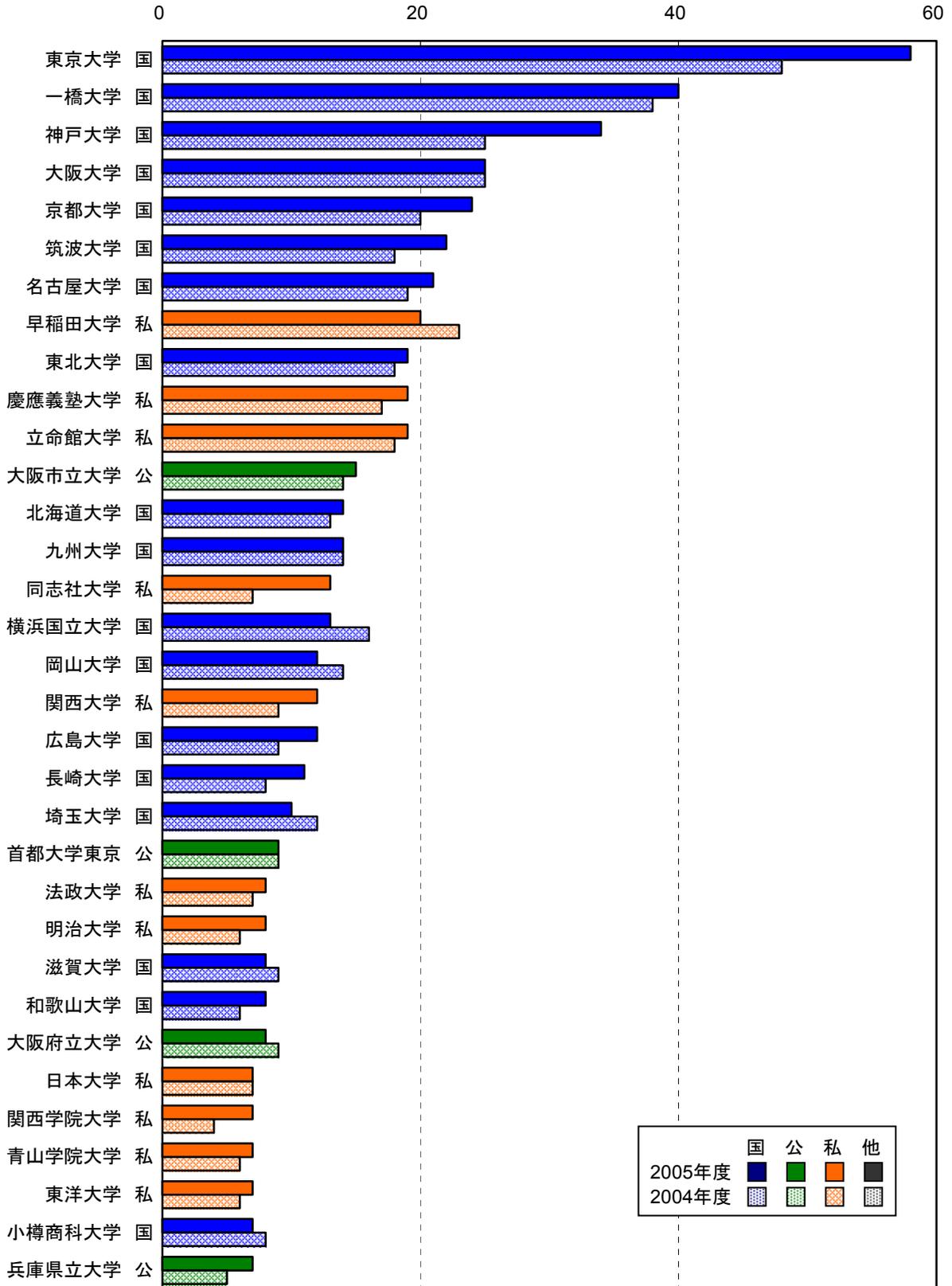


図2-14 経済学 採択研究課題数上位30位(2005年度)

採択研究課題数

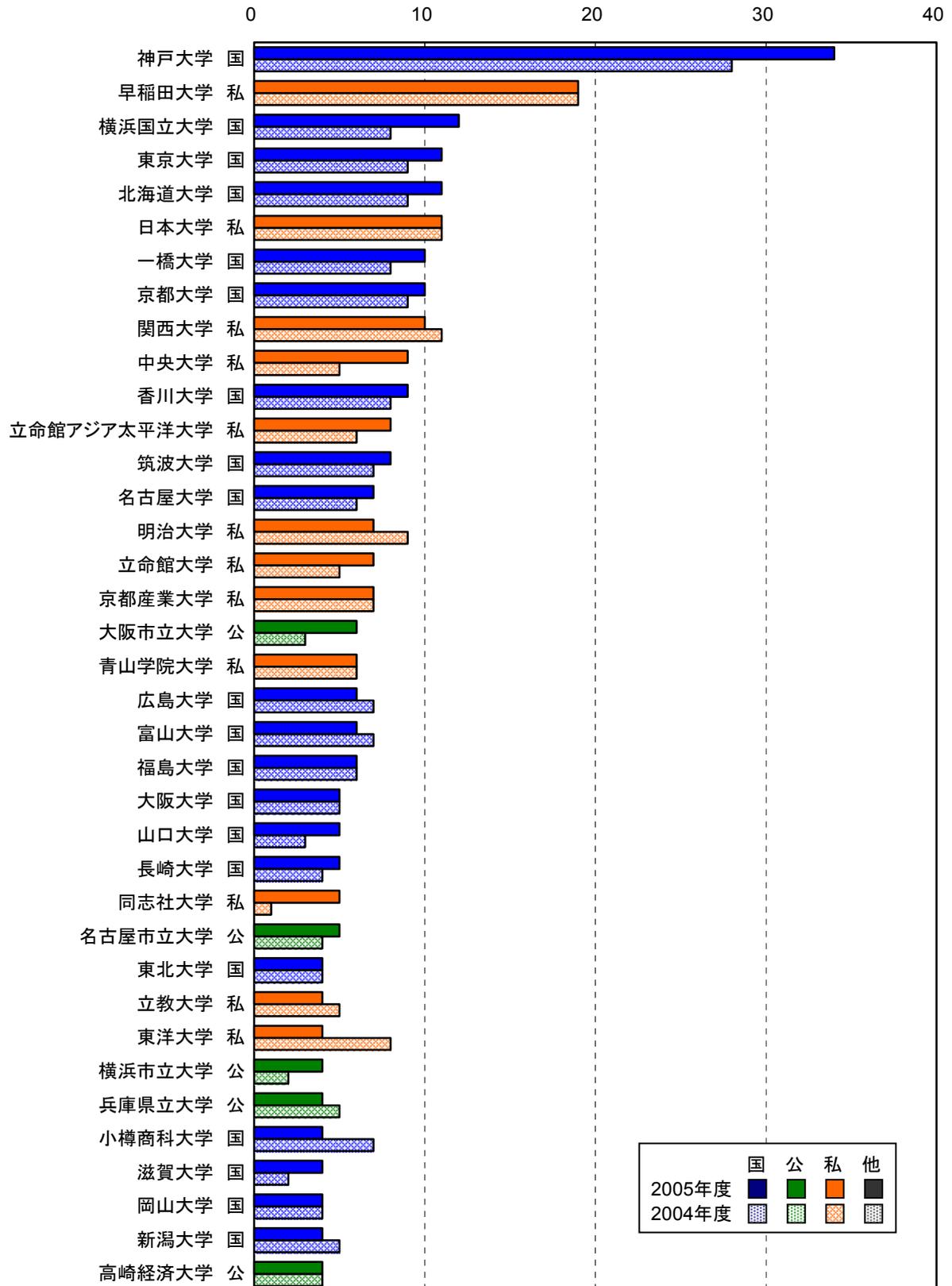


図2-15 経営学 採択研究課題数上位30位 (2005年度)

採択研究課題数

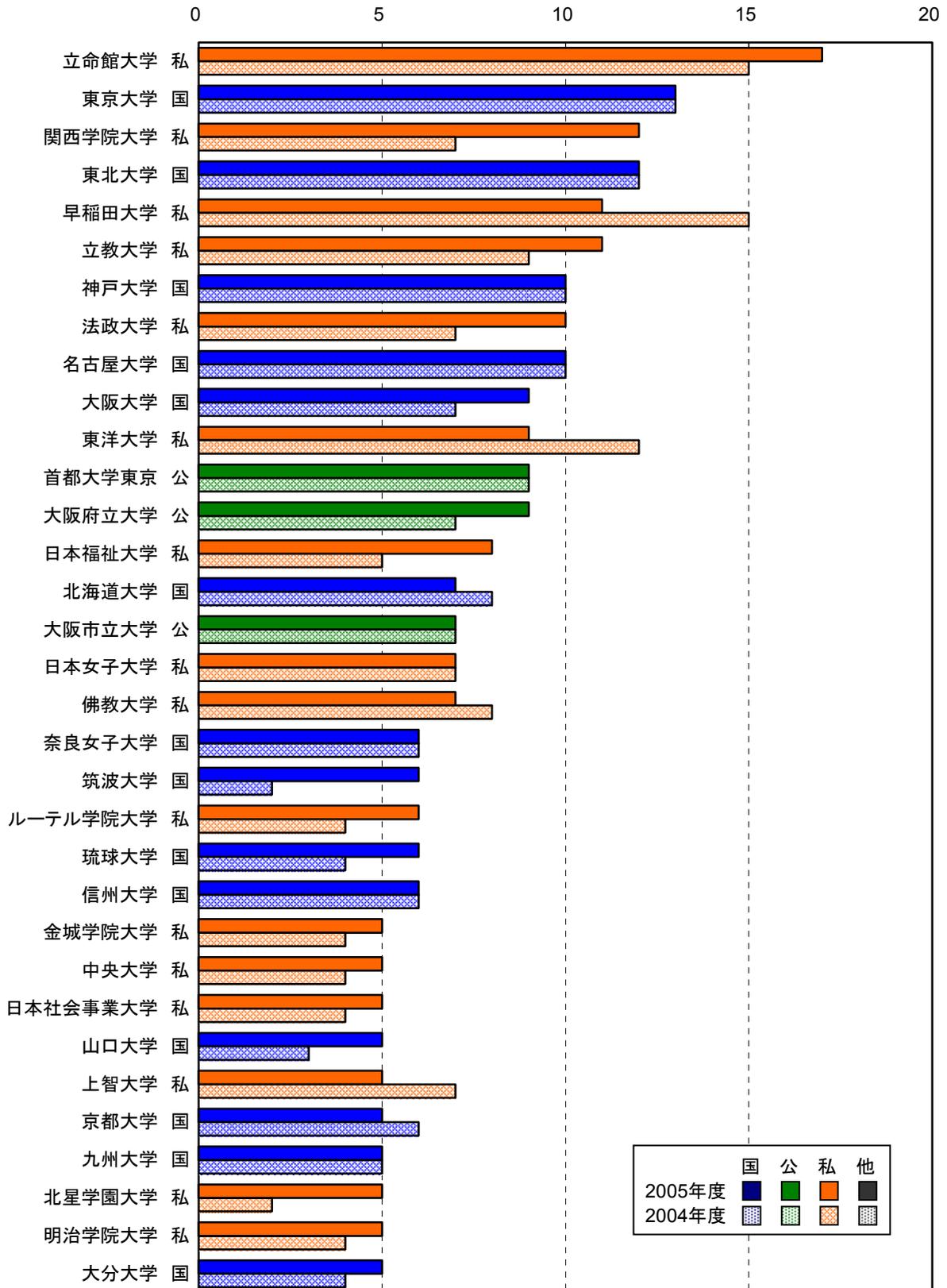


図2-16 社会学 採択研究課題数上位30位 (2005年度)

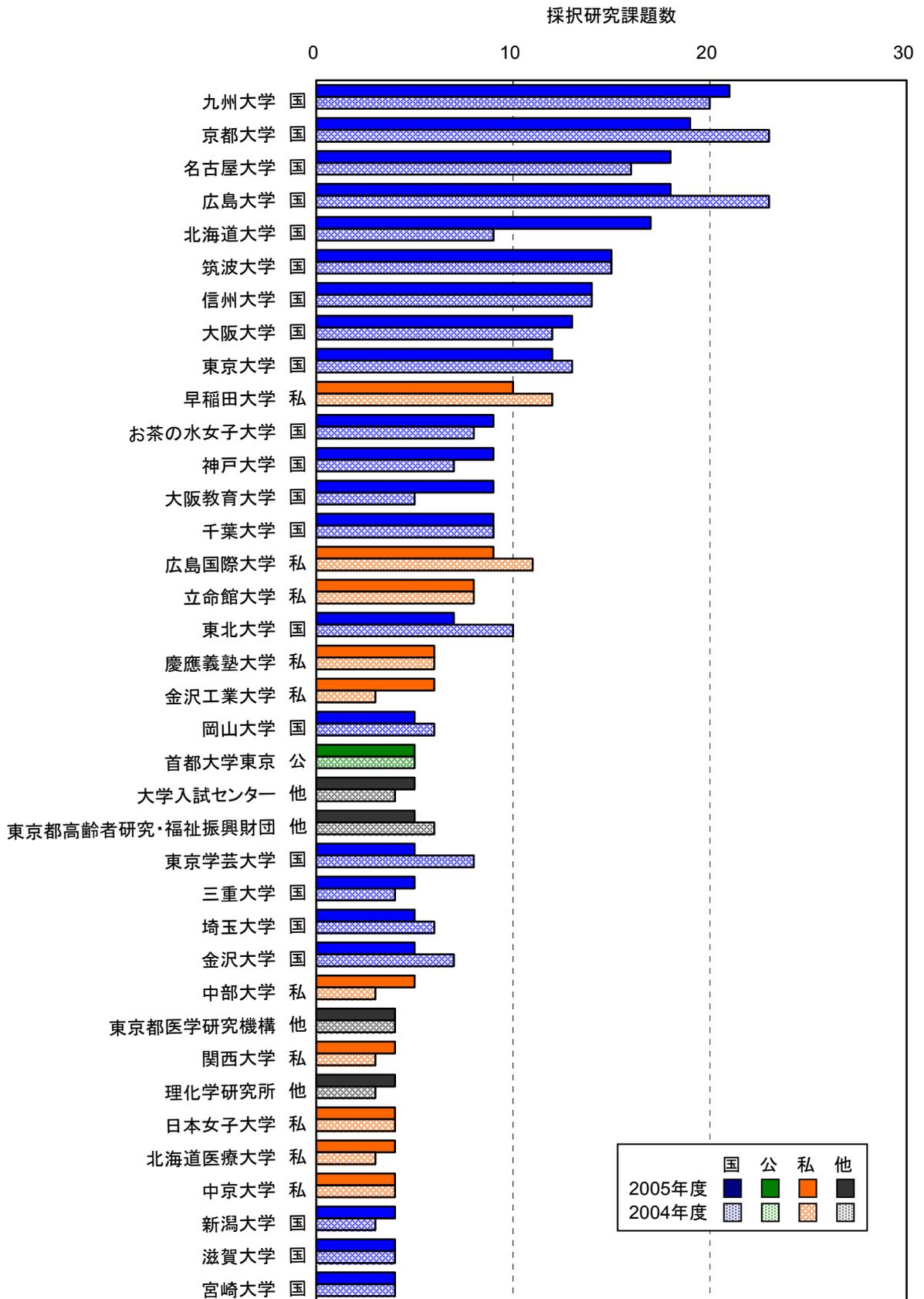


図 2 - 1 7 心理学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

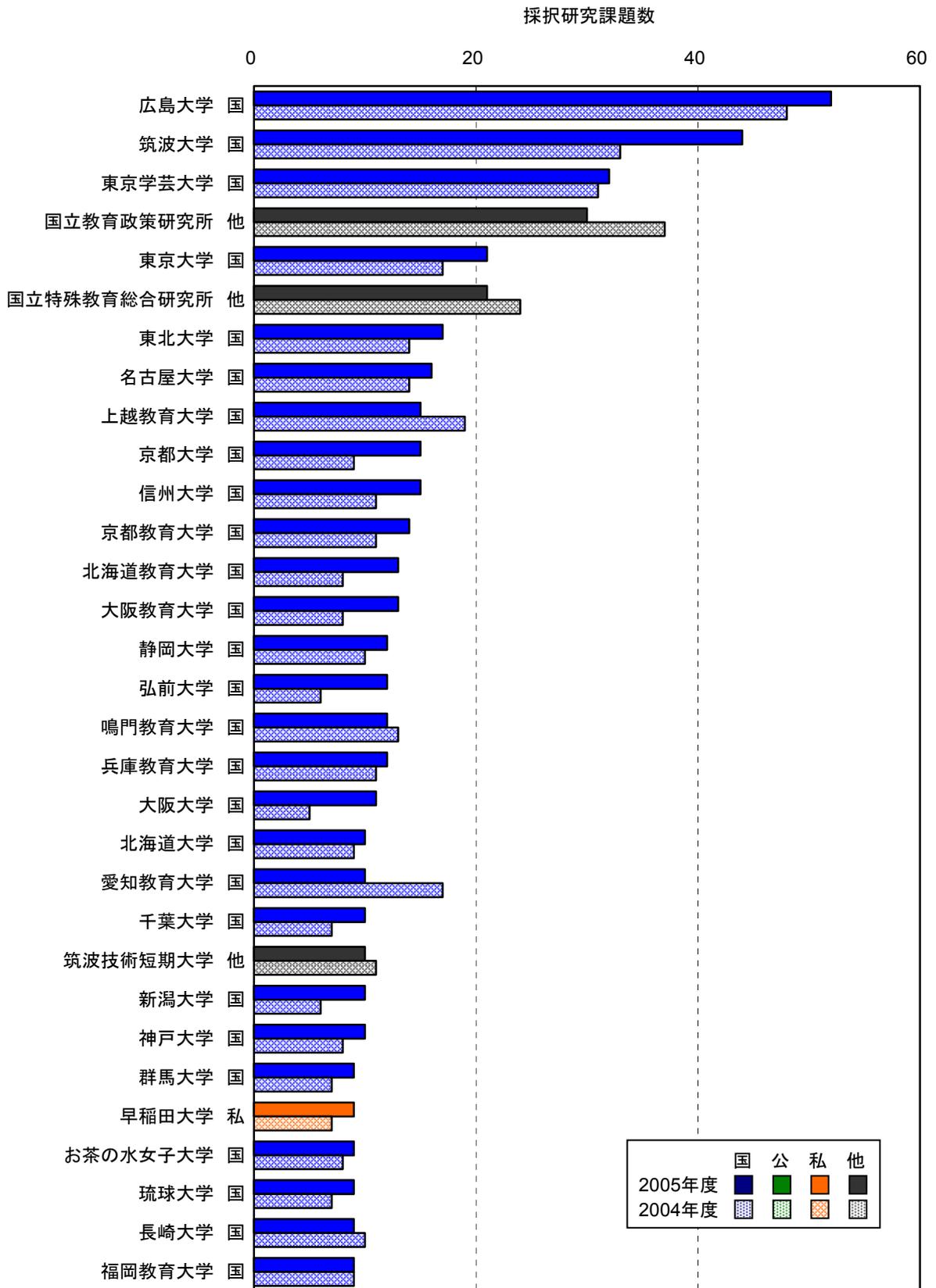


図 2 - 1 8 教育学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)